

2022年度 共済事業にかかる認知度等調査結果報告

日本共済協会 企画部

はじめに

共済事業を実施する団体や保険会社では、事業の特性に応じた広報・情報発信を行っています。こうした情報発信や実際の事業運営を通じた組合員・利用者等との関わりの結果、組合員・利用者等を含む一般の方が、どのように協同組合共済や保険を認知しているのかを調査することにより、共済事業が広く支持を得て発展するために必要な知見を求めることを目的として、2021年3月に当協会として初めての意識調査を実施しました。

第2回目となる今回の調査¹では、第1回目調査と時系列での比較が容易となるように留意しつつ、選択肢の内容を明確にする等のために調査項目に若干の変更を行いました。

本稿では、第2回目の調査結果における主な内容をご紹介します。

I 調査の実施概要

1. 調査名

2022年度 共済事業にかかる認知度等調査

1 一般社団法人 日本共済協会 「2022年度 共済事業にかかる認知度等調査」
<https://www.jcia.or.jp/action/research.html>

2. 調査目的

共済事業への一般消費者の認知と関心を調査することをもって、共済事業が広く国民の支持を得て発展するために必要な知見を求める。

3. 調査方法

公益財団法人日本生産性本部によるインターネット調査
(楽天インサイト株式会社の所有モニターに対する調査)

4. 調査時期

2022年12月6日～12月9日

5. 調査設問

25問

<主な調査項目>

- ① 回答者属性 (性別、年齢、職業、年収、居住都道府県など)
- ② 消費行動における価値観
- ③ 相互扶助の重要性
- ④ 保険・共済における利益の用途に関する認識
- ⑤ 保険・共済との接点 (情報チャネル、契約チャネル)
- ⑥ 加入者が保険・共済を周囲にすすめるために重要な要素 (商品の評価、企業の評価、すすめやすさの評価)
- ⑦ 未加入者が保険・共済へ加入するために重要な要素 (商品の評価、企業の評価)

6. 調査対象者

4,000人

※ 対象者は20～60歳代の日本在住者とし、性別、年齢（10歳ごと）、都道府県で割付。割付は国勢調査（2020年）に基づき比率配分。

※ 有効回答者数3,880人（エラーチェックで120サンプルを除外）

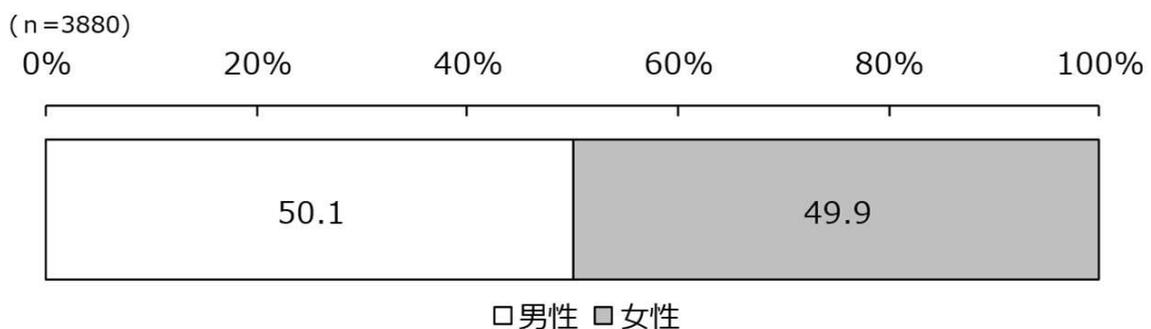
II 調査結果概要²

1. 回答者の基本属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」が50.1%、「女性」49.9%であった。

図表Ⅱ－1－1 性別



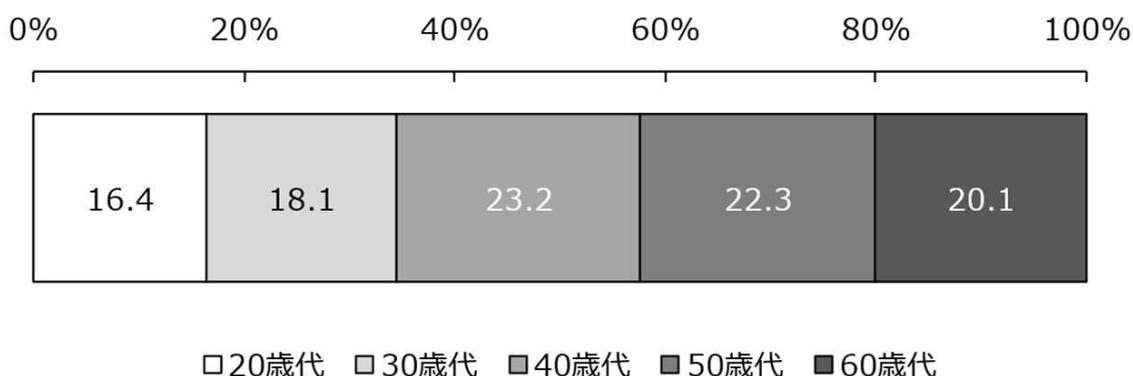
2 本調査は、共済の加入者に限定せずに広く日本在住者を対象とし、共済と保険を合わせて質問する際には、認知度の差等による回答時のバイアスを回避するため、「保険や共済」等と表示して質問を行った。このため、調査結果報告の記述に際しては、保険・共済の順を基本とするなど質問の表示に合わせている。また、構成比の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にはならない場合がある。

(2) 年代

回答者の年代については、「20歳代」16.4%、「30歳代」18.1%、「40歳代」23.2%、「50歳代」22.3%、「60歳代」20.1%であった。

図表Ⅱ-1-2 年代別

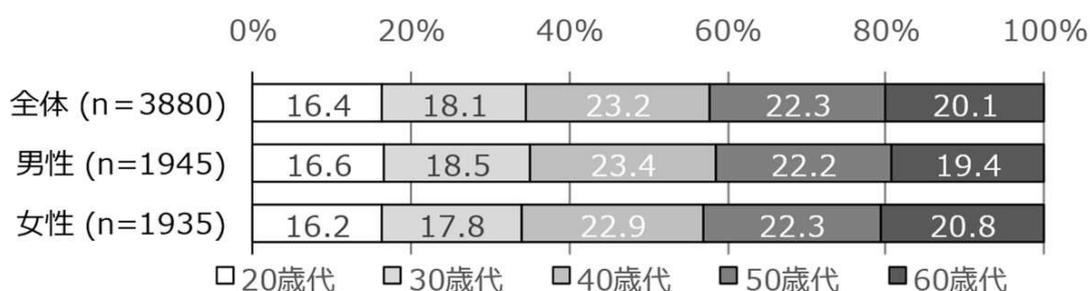
(n=3880)



(3) 性・年代

回答者の性・年代別構成については、「男性20歳代」16.6%、「男性30歳代」18.5%、「男性40歳代」23.4%、「男性50歳代」22.2%、「男性60歳代」19.4%、「女性20歳代」16.2%、「女性30歳代」17.8%、「女性40歳代」22.9%、「女性50歳代」22.3%、「女性60歳代」20.8%であった。

図表Ⅱ-1-3 性・年代別

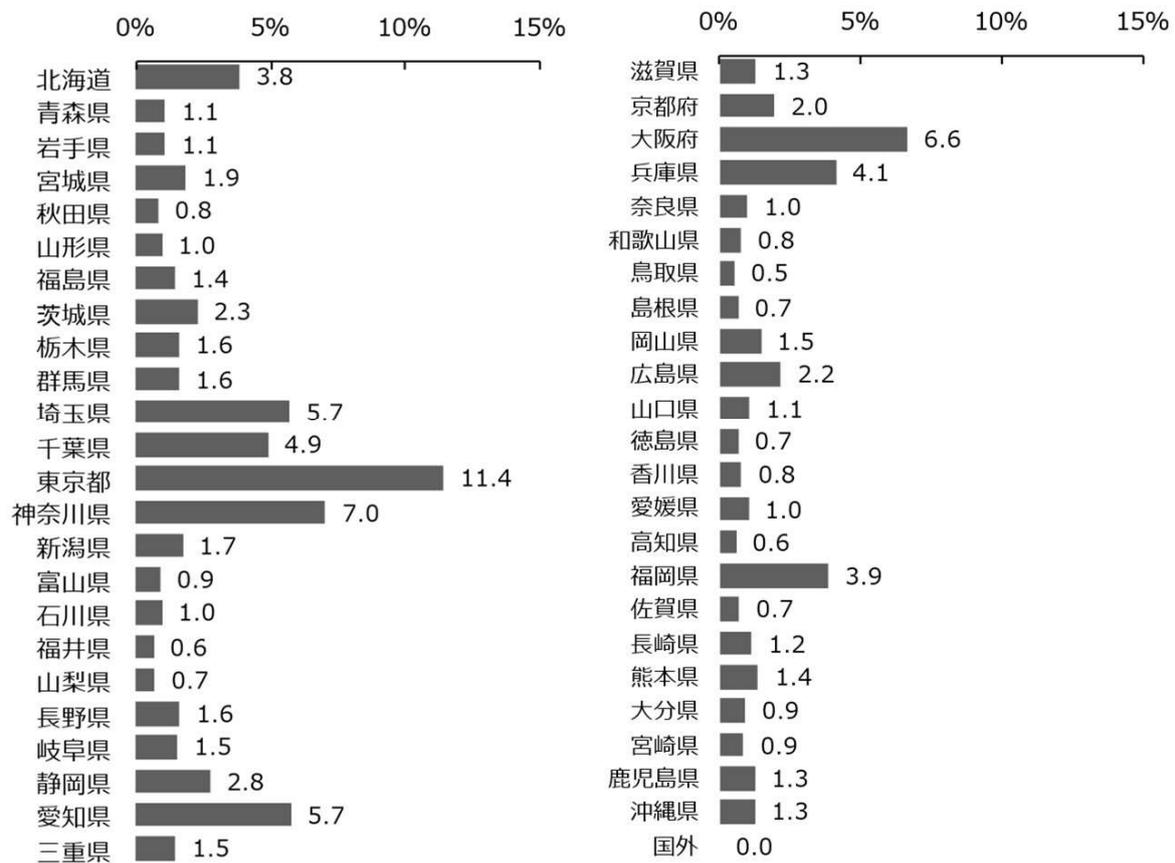


(4) 居住地

回答者の居住地については、「東京都」11.4%、「神奈川県」7.0%、「埼玉県」5.7%、「千葉県」4.9%であり、関東地方における1都3県で29.0%を占めた。また、「大阪府」6.6%、「兵庫県」4.1%、「京都府」2.0%であり、近畿地方における2府1県で12.7%であった。

図表Ⅱ-1-4 居住地

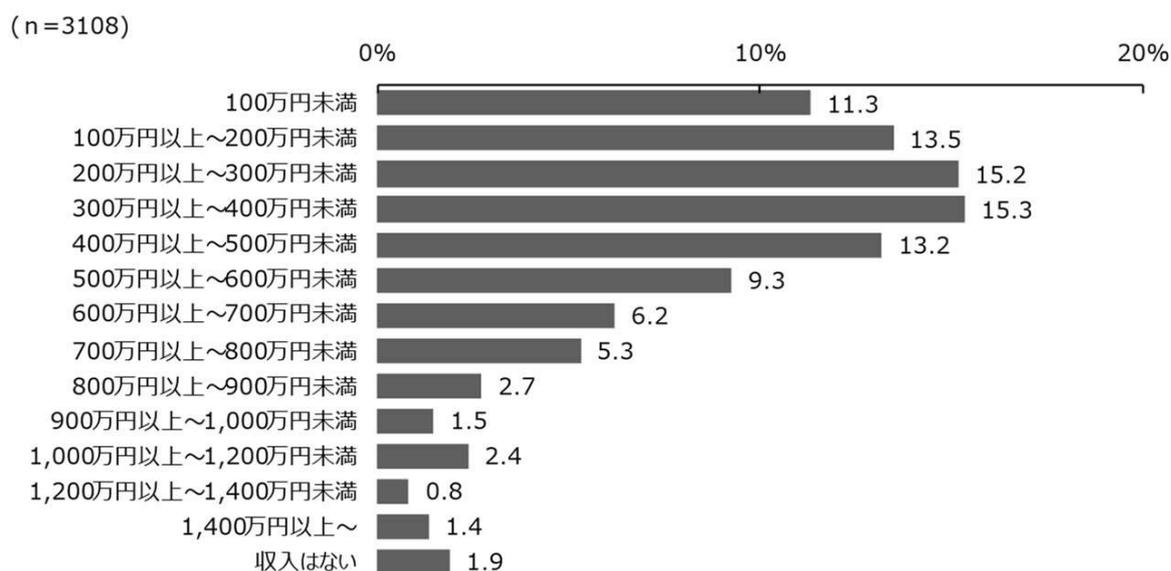
(n=3880)



(5) 年収

回答者における年収別割合では、最も割合が高いのは「300万円以上～400万円未満」15.3%、次いで「200万円以上～300万円未満」15.2%、「100万円以上～200万円未満」13.5%、「400万円以上～500万円未満」13.2%であり、100万円以上～500万円未満の層で57.2%を占めた。

図表Ⅱ-1-5 個人年収



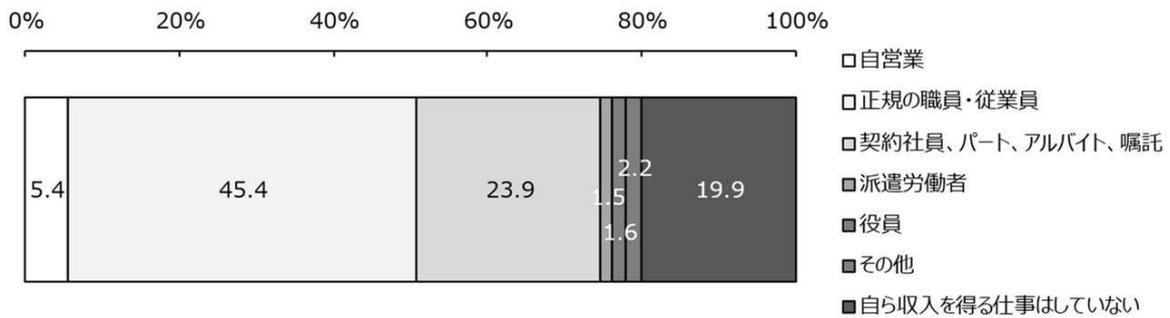
注) Q1で「自営業」「正規の職員・従業員」「契約社員、パート、アルバイト、嘱託」「派遣労働者」「役員」「その他」とした方のみ

(6) 職業

回答者の職業を聞いたところ (Q1)、「自営業」5.4%、「正規の職員・従業員」45.4%、「契約社員、パート、アルバイト、嘱託」23.9%、「派遣労働者」1.5%、「役員」1.6%、「その他」2.2%「自ら収入を得る仕事はしていない」19.9%であった。

図表Ⅱ-1-6 職業（Q1）

(n=3880)

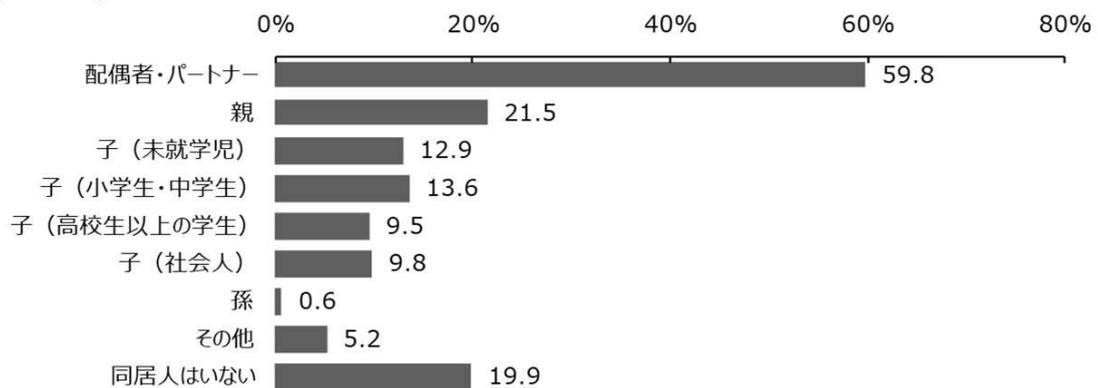


(7) 同居者

同居者について聞いたところ（Q2、複数選択）、「配偶者・パートナー」59.8%、「親」21.5%、「子（未就学児）」12.9%、「子（小学生・中学生）」13.6%、「子（高校生以上の学生）」9.5%、「子（社会人）」9.8%、「孫」0.6%、「その他」5.2%、「同居人はいない」19.9%であった。

図表Ⅱ-1-7 同居者＜義理の関係を含む＞（Q2）

(n=3880)



2. 共済事業に対する認知度等の現状

(1) 生活・消費スタイル

生活・消費に関する19の項目について自分にどの程度当てはまるかを、それぞれ「該当する」「やや該当する」「どちらとも言えない」「あまり該当しない」「該当しない」の5段階で選択してもらった（Q3）。

「1. 環境に配慮した生活を送りたい」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて50.9%、「どちらとも言えない」34.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると14.6%であった。

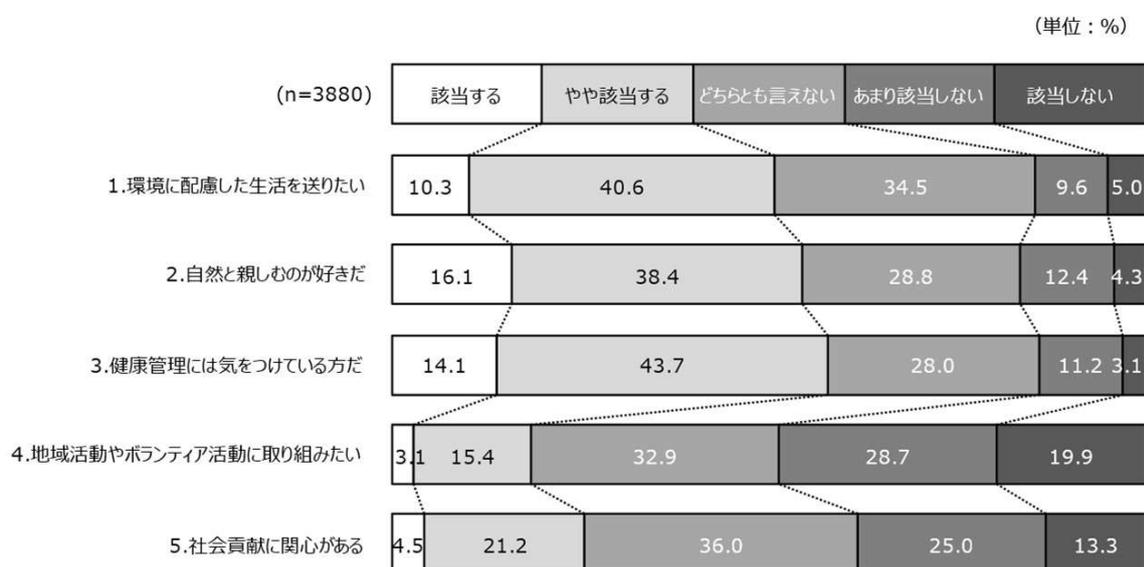
「2. 自然と親しむのが好きだ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて54.5%、「どちらとも言えない」28.8%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると16.7%であった。

「3. 健康管理には気をつけている方だ」については、「やや該当する」「該当する」を合わせて57.8%、「どちらとも言えない」28.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると14.3%であった。

「4. 地域活動やボランティア活動に取り組みたい」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて18.5%、「どちらとも言えない」32.9%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると48.6%であった。

「5. 社会貢献に関心がある」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて25.7%、「どちらとも言えない」36.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると38.3%であった。

図表Ⅱ-2-1-① 生活・消費スタイル (Q3)



「6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて52.0%、「どちらとも言えない」29.3%、「該当しない」「あまり該当しない」を合わせると18.6%であった。

「7.流行に敏感な方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて20.1%、「どちらとも言えない」35.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると44.5%であった。

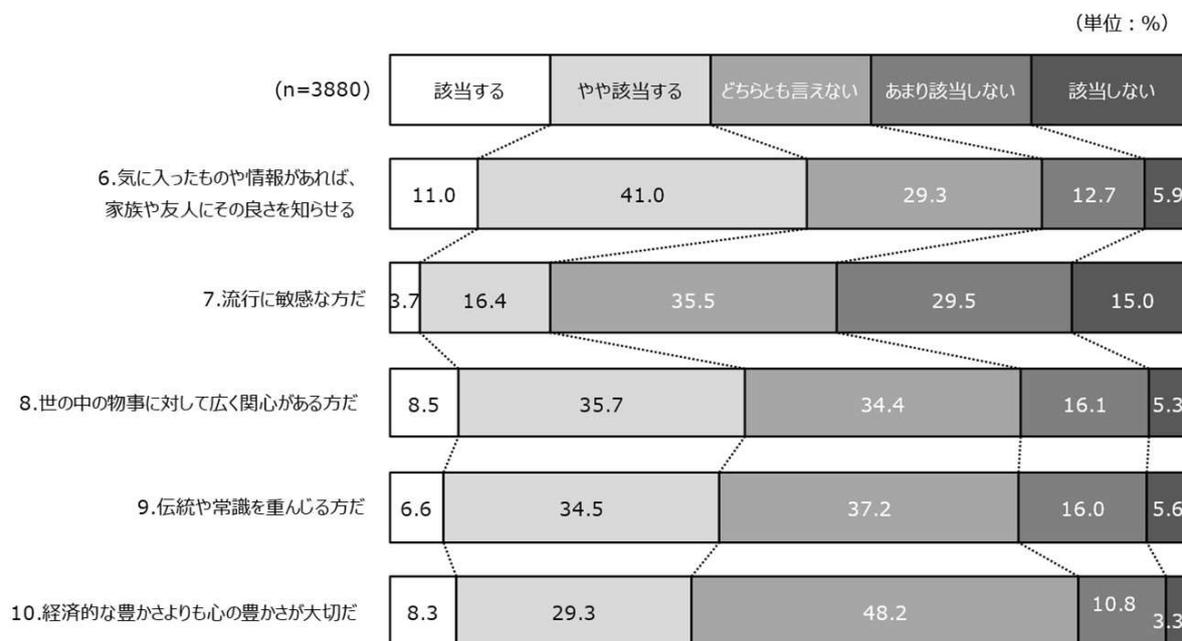
「8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて44.2%、「どちらとも言えない」34.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると21.4%であった。

「9.伝統や常識を重んじる方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて41.1%、「どちらとも言えない」37.2%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると21.6%であった。

「10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて37.6%、「どちらとも言えない」48.2%、「あま

り該当しない」「該当しない」を合わせると14.1%であった。

図表Ⅱ-2-1-② 生活・消費スタイル（Q3）



「11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて18.6%、「どちらとも言えない」42.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると39.0%であった。

「12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて30.7%、「どちらとも言えない」42.2%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると27.1%であった。

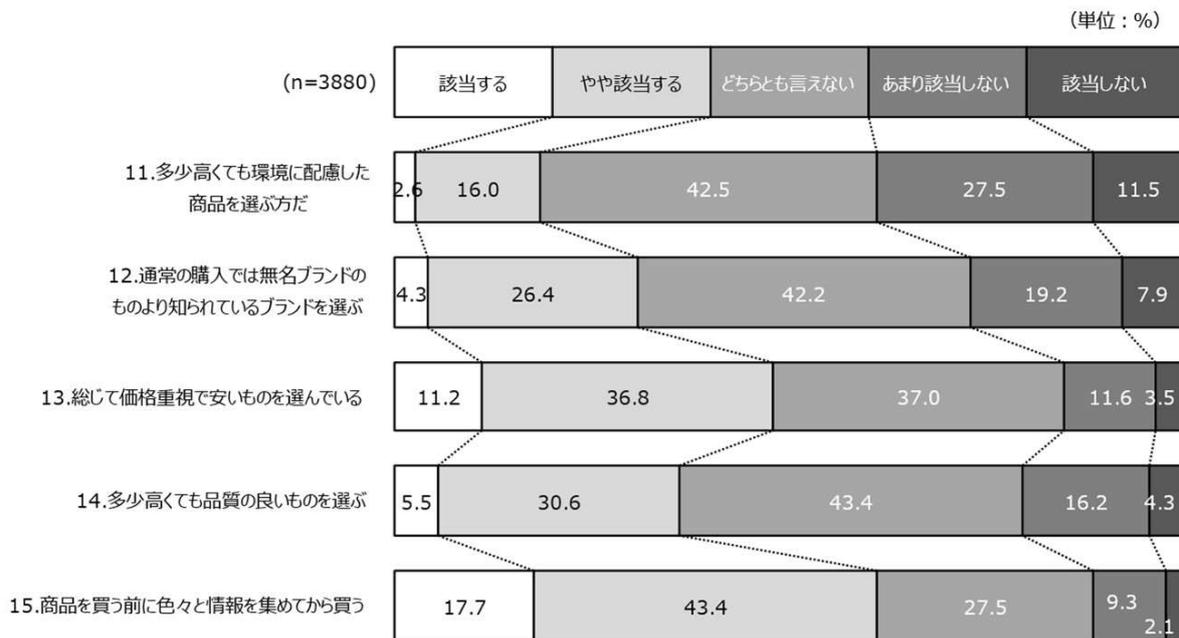
「13. 総じて価格重視で安いものを選んでる」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて48.0%、「どちらとも言えない」37.0%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると15.1%であった。

「14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて36.1%、「どちらとも言えない」43.4%、「あまり該

当しない」「該当しない」を合わせると20.5%であった。

「15. 商品を買う前に色々と情報を集めてから買う」については「該当する」「やや該当する」を合わせて61.1%、「どちらとも言えない」27.5%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると11.4%であった。

図表Ⅱ-2-1-③ 生活・消費スタイル（Q3）



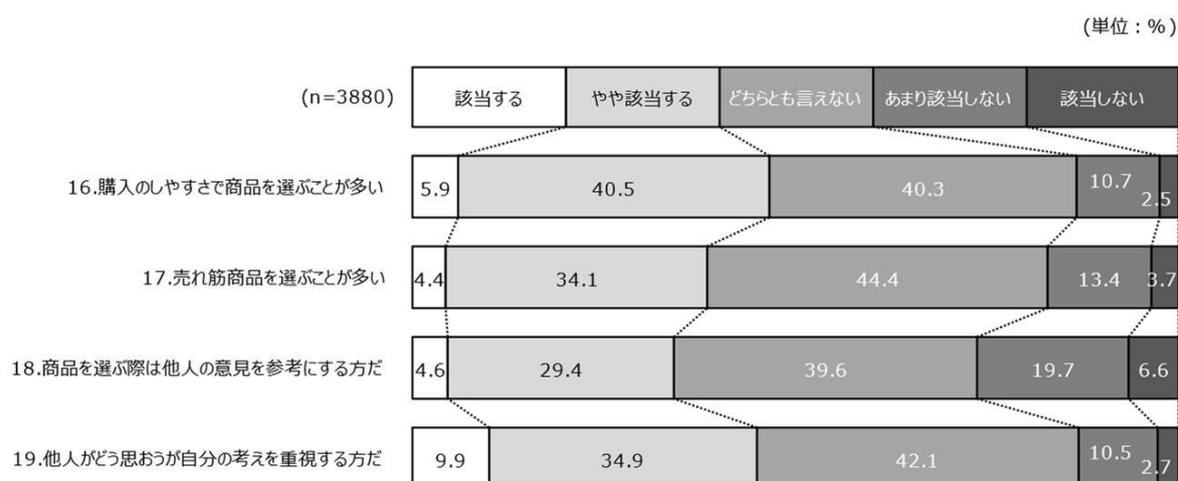
「16. 購入のしやすさで商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて46.4%、「どちらとも言えない」40.3%、「該当しない」「あまり該当しない」を合わせると13.2%であった。

「17. 売れ筋商品を選ぶことが多い」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて38.5%、「どちらとも言えない」44.4%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると17.1%であった。

「18. 商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて34.0%、「どちらとも言えない」39.6%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると26.3%であった。

「19. 他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ」については、「該当する」「やや該当する」を合わせて44.8%、「どちらとも言えない」42.1%、「あまり該当しない」「該当しない」を合わせると13.2%であった。

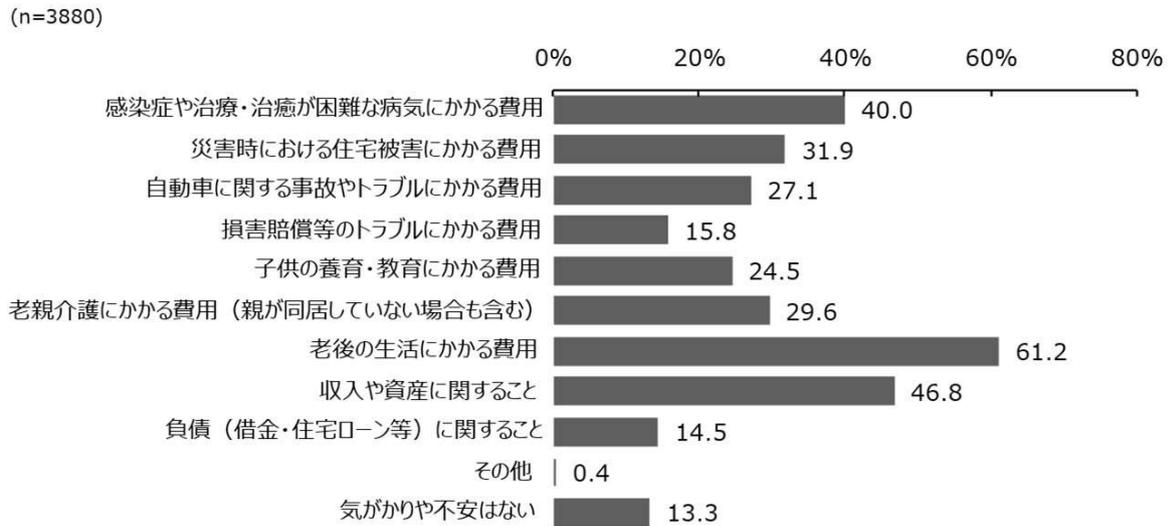
図表Ⅱ-2-1-④ 生活・消費スタイル（Q3）



(2) 日常生活における気がかりなことや不安に思うこと

日常生活における気がかりなことや不安に思うことについて聞いたところ（Q4、複数選択）、「老後の生活にかかる費用」61.2%、「収入や資産に関すること」46.8%、「感染症や治療・治癒が困難な病気にかかる費用」40.0%、「災害時における住宅被害にかかる費用」31.9%、「老親介護にかかる費用（親が同居していない場合も含む）」29.6%、「自動車に関する事故やトラブルにかかる費用」27.1%、「子供の養育・教育にかかる費用」24.5%、「損害賠償等のトラブルにかかる費用」15.8%、「負債（借金・住宅ローン等）に関すること」14.5%、「その他」0.4%、「気がかりや不安はない」13.3%であった。

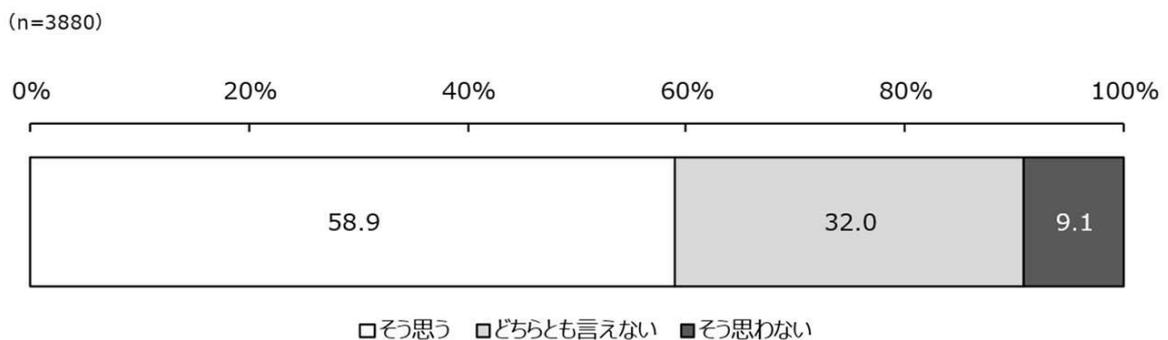
図表Ⅱ-2-2 日常生活における気がかりや不安（Q4）



(3) 保険や共済の仕組みにみられるような助け合いの重要性

保険や共済におけるような助け合いの精神の重要性について（Q5）、「そう思う」「そう思わない」「どちらとも言えない」で聞いたところ、「そう思う」58.9%、「どちらとも言えない」32.0%、「そう思わない」9.1%であった。

図表Ⅱ-2-3 助け合いの重要性（Q5）

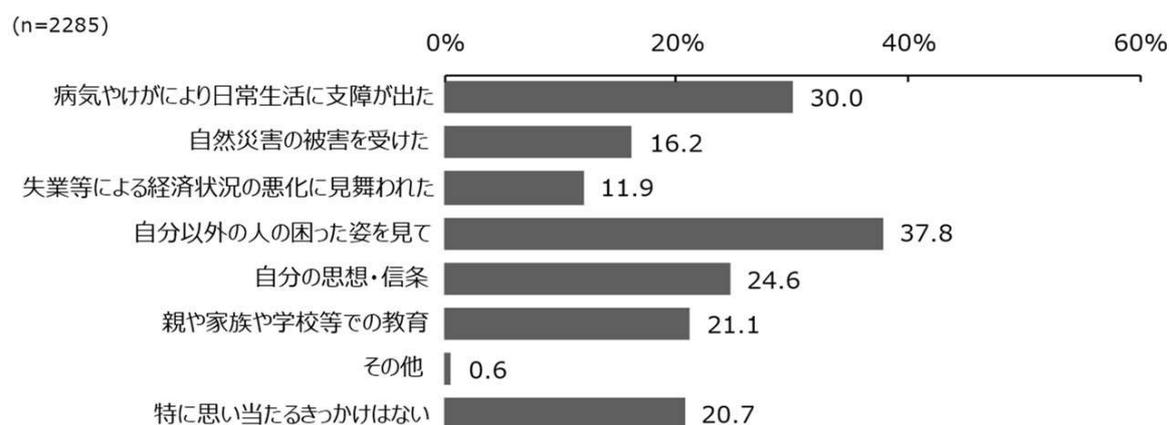


(4) 助け合いが重要だと考えたきっかけ

助け合いが重要だと考えたきっかけについて聞いたところ（Q6、複数選択）、「自分以外の人困った姿を見て」37.8%、「病気やけがにより日常生活に支障が出た」30.0%、「自分の思想・信条」24.6%、「親や家族や学校等での教育」21.1%、「自然災害の被害を受けた」16.2%、「失業等による経済状況の悪化に見舞われた」11.9%、「その他」0.6%、「特に思い当たるきっかけはない」20.7%であった。

自分以外の人困った姿を見た経験をきっかけとする割合が最も高く、次いで病気やけがにより日常生活に支障が出たことが高い割合を示している。

図表Ⅱ-2-4 助け合いが重要だと考えたきっかけ（Q6）

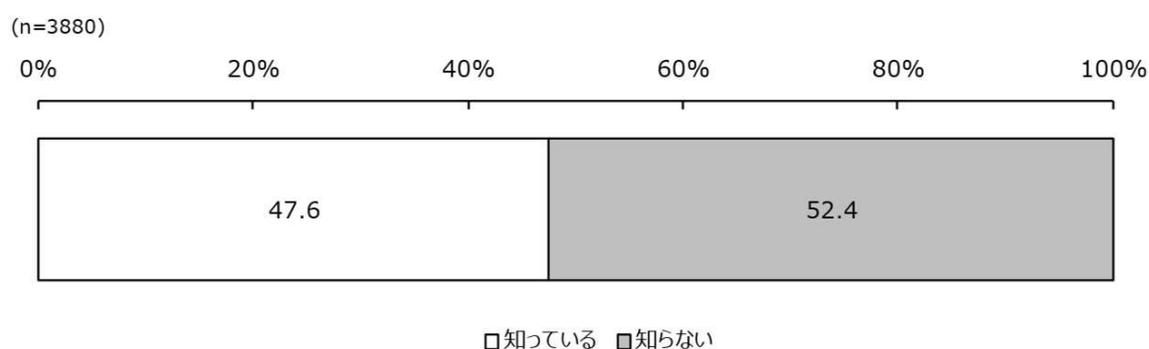


注) Q5で「そう思う」と回答した方のみ回答

(5) 共済に加入する際に組合員であることが必要であることの認知

共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているかどうかを聞いたところ（Q7）、「知っている」47.6%、「知らない」52.4%であった。全体としてはおおよそ半々の割合となっている。

図表Ⅱ-2-5 共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているか（Q7）

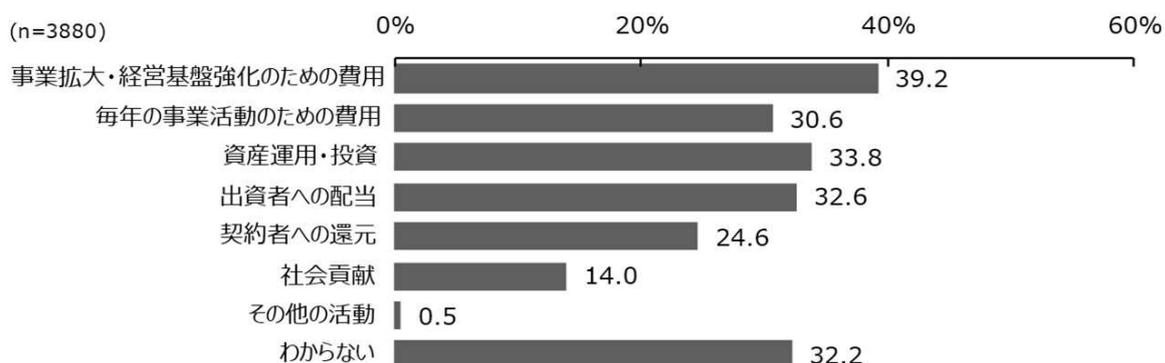


(6) 保険会社があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

保険会社があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ（Q8、複数選択）、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」39.2%、「資産運用・投資」33.8%、「出資者への配当」32.6%、「毎年の事業活動のための費用」30.6%、「契約者への還元」24.6%、「社会貢献」14.0%、「その他の活動」0.5%、「わからない」32.2%であった。

保険の利益使途のイメージについて最も多かったのが、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」、次いで「資産運用・投資」となっている。

図表Ⅱ-2-6 保険会社の利益使途にかかるイメージ (Q8)

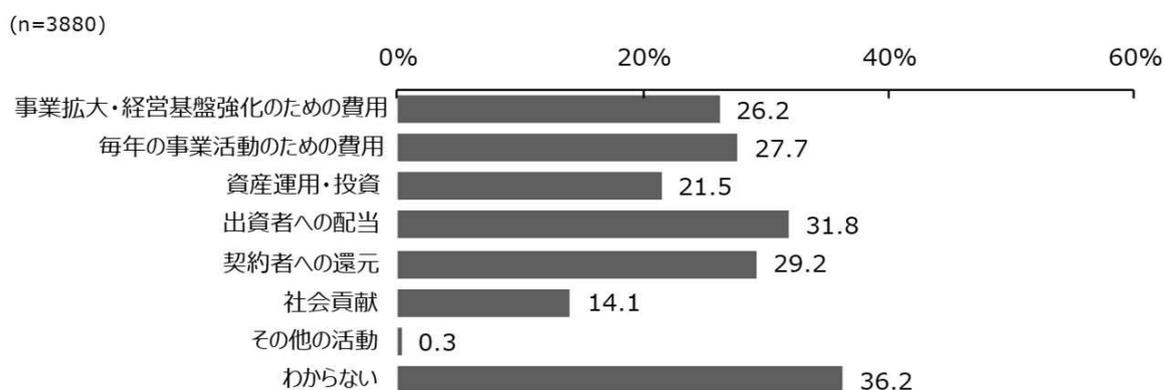


(7) 共済があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

共済があげた利益（剰余）がどのように使われていると思うかを聞いたところ (Q9、複数選択)、「出資者への配当」31.8%、「契約者への還元」29.2%、「毎年の事業活動のための費用」27.7%、「事業拡大・経営基盤強化のための費用」26.2%、「資産運用・投資」21.5%、「社会貢献」14.1%、「その他の活動」0.3%、「わからない」36.2%であった。

共済の利益使途のイメージについて最も多かったのが「わからない」であり、次いで「出資者への配当」となっている。

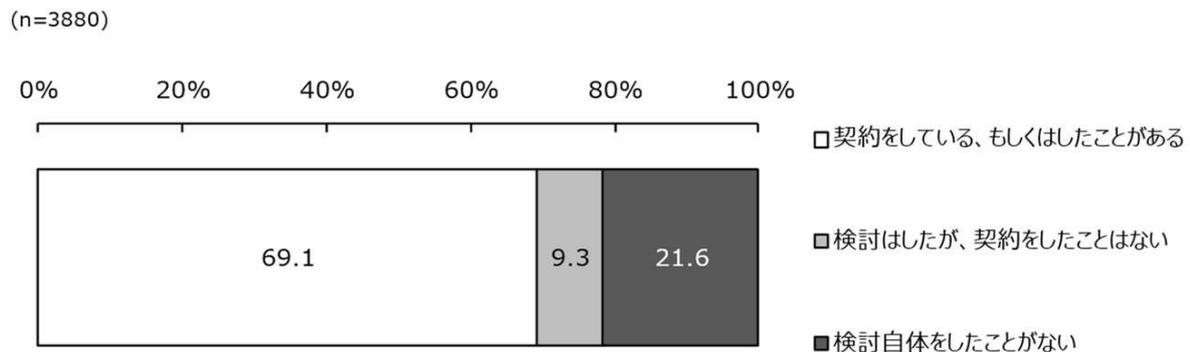
図表Ⅱ-2-7 共済の利益使途にかかるイメージ (Q9)



(8) 保険や共済の契約経験の有無

これまでの保険・共済の契約経験の有無を聞いたところ（Q10）、「契約をしている、もしくはしたことがある」69.1%、「検討はしたが、契約をしたことはない」9.3%、「検討自体をしたことがない」21.6%であった。

図表Ⅱ-2-8 保険・共済の契約経験の有無（Q10）

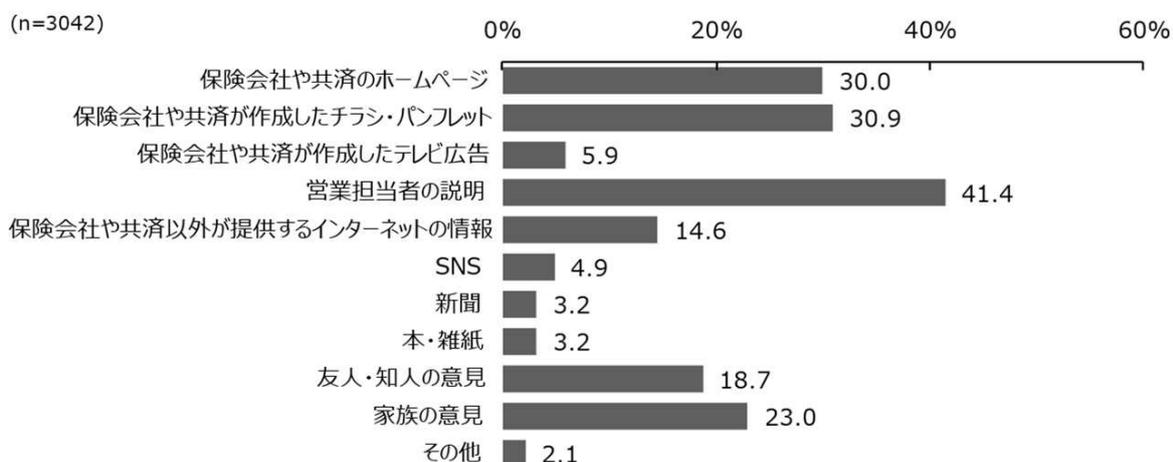


(9) 契約を検討した際に重視した情報

保険や共済の契約を検討した際に重視した情報を聞いたところ（Q11、複数選択）、「営業担当者の説明」41.4%、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」30.9%、「保険会社や共済のホームページ」30.0%、「家族の意見」23.0%、「友人・知人の意見」18.7%、「保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報」14.6%、「保険会社や共済が作成したテレビ広告」5.9%、「SNS」4.9%、「新聞」3.2%、「本・雑誌」3.2%、「その他」2.1%であった。

重視された上位3つは「営業担当者の説明」、「保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット」「保険会社や共済のホームページ」であり、次いで「家族の意見」「知人・友人の意見」となっている。

図表Ⅱ-2-9 保険・共済の契約を検討した際に重視した情報（Q11）



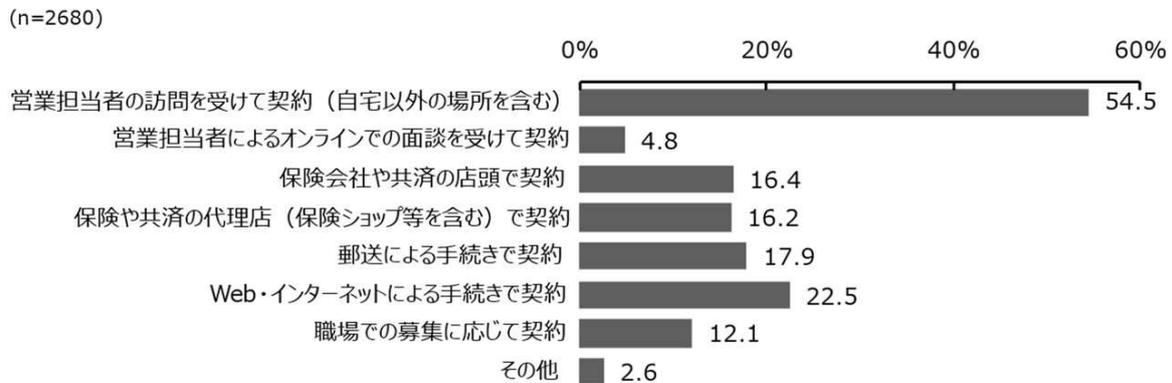
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答

(10) これまでに保険や共済の契約をした場面

これまでに保険や共済の契約をした場면을聞いたところ(Q12、複数選択)、「営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）」54.5%、「Web・インターネットによる手続きで契約」22.5%、「郵送による手続きで契約」17.9%、「保険会社や共済の店頭で契約」16.4%、「保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で契約」16.2%、「職場での募集に応じて契約」12.1%、「営業担当者によるオンラインでの面談を受けて契約」4.8%、「その他」2.6%であった。

「営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）」の割合が最も高く、次いで「Web・インターネットによる手続きで契約」が高くなっている。

図表Ⅱ-2-10 保険・共済の契約場面（Q12）



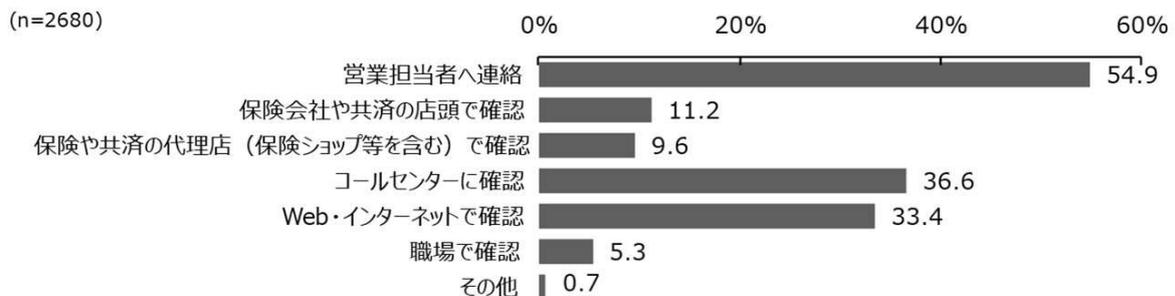
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(11) 加入後の疑問の確認方法

保険や共済に加入した後に手続きや疑問が発生した場合の確認方法を聞いたところ（Q13、複数選択）、「営業担当者への連絡」54.9%、「コールセンターに確認」36.6%、「Web・インターネットで確認」33.4%、「保険会社や共済の店頭で確認」11.2%、「保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で確認」9.6%、「職場で確認」5.3%、「その他」0.7%であった。

「営業担当者への連絡」が最も高く、次いで、「コールセンターに確認」「Web・インターネットで確認」という、利用者側の利便性の高い方法がとられている。

図表Ⅱ-2-11 保険・共済加入後の疑問の確認方法（Q13）



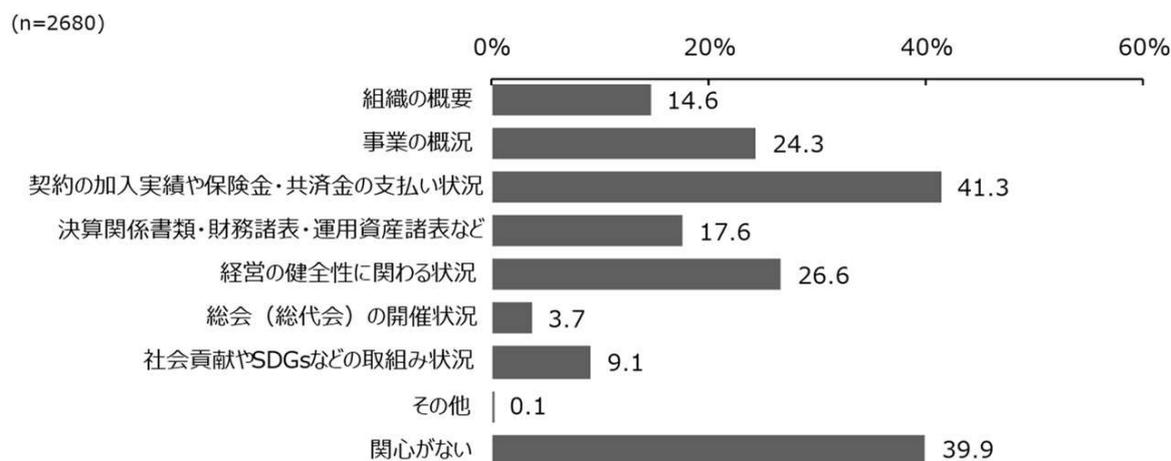
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(12) 保険や共済について関心のある情報

保険や共済が公開している経営状況や健全性、社会貢献活動などについて関心のある情報を聞いたところ（Q14、複数選択）、「契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況」41.3%、「経営の健全性に関わる状況」26.6%、「事業の概況」24.3%、「決算関係書類・財務諸表・運用資産諸表など」17.6%、「組織の概要」14.6%、「社会貢献やSDGsなどの取組み状況」9.1%、「総会（総代会）の開催状況」3.7%、「その他」0.1%、「関心がない」39.9%であった。

「契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況」が最も関心が高いが、次いで「関心がない」の割合も高くなっている。

図表Ⅱ-2-12 保険・共済が公開している情報の中で関心のあるもの（Q14）



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(13) 実際に契約している保険・共済商品への考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q17）。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて71.7%、「どちらとも言えない」22.9%、「あまり思わない」「思わ

ない」を合わせると5.5%であった。

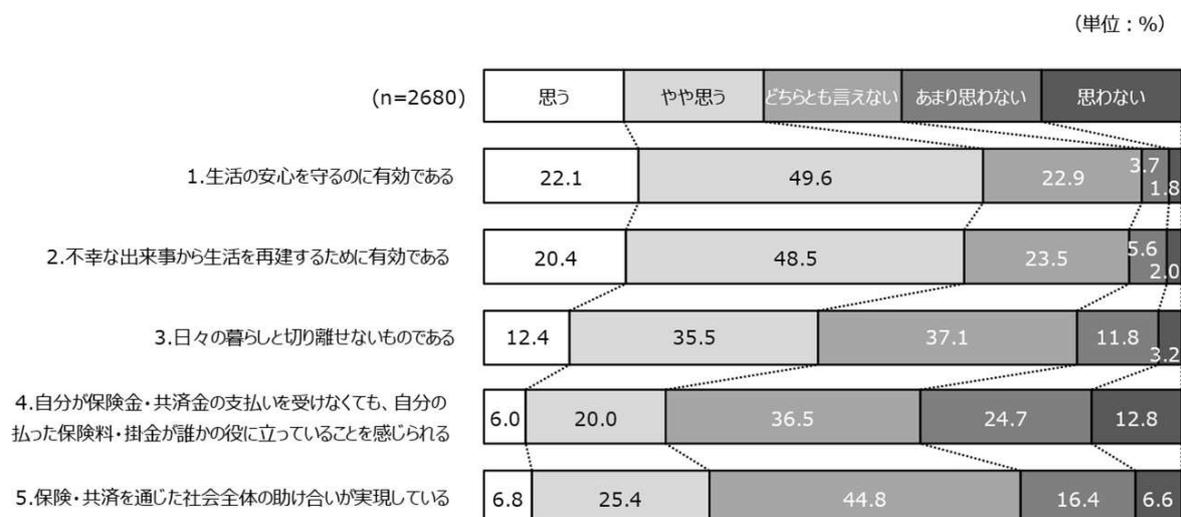
「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて68.9%、「どちらとも言えない」23.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると7.6%であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて47.9%、「どちらとも言えない」37.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.0%であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていることを感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて26.0%、「どちらとも言えない」36.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると37.5%であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.2%、「どちらとも言えない」44.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.0%であった。

図表Ⅱ-2-13-① 保険・共済商品についての考え<最新の契約について>
(Q17)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて44.6%、「どちらとも言えない」39.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.1%であった。

「7. 契約した商品の保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて46.2%、「どちらとも言えない」40.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.0%であった。

「8. 契約した商品の説明や手続は分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて49.8%、「どちらとも言えない」37.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.2%であった。

「9. 商品を契約したことで、あなたの周囲に安心を与えられたと感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて47.6%、「どちらとも言えない」38.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると13.6%であった。

「10. 商品を契約することを、あなたの周囲から求められていたと感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.0%、「どちらとも言えない」44.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると30.3%であった。

図表Ⅱ-2-13-② 保険・共済商品についての考え<最新の契約について>

(Q17)

(単位：%)

	(n=2680)				
	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6. 契約した商品の保険料・掛金は妥当である	11.2	33.4	39.3	12.7	3.4
7. 契約した商品の保障は十分である	10.9	35.3	40.8	10.1	2.9
8. 契約した商品の説明や手続きは分かりやすい	11.7	38.1	37.0	9.5	3.7
9. 商品を契約したことで、あなたの周囲に安心を与えられたと感じられる	9.9	37.7	38.8	9.7	3.9
10. 商品を契約することを、あなたの周囲から求められていたと感じられる	5.9	19.1	44.7	19.0	11.3

注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(14) 実際に契約している保険・共済商品の提供企業への考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）の提供企業についての考えを聞いた（Q18）。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて58.0%、「どちらとも言えない」37.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると4.4%であった。

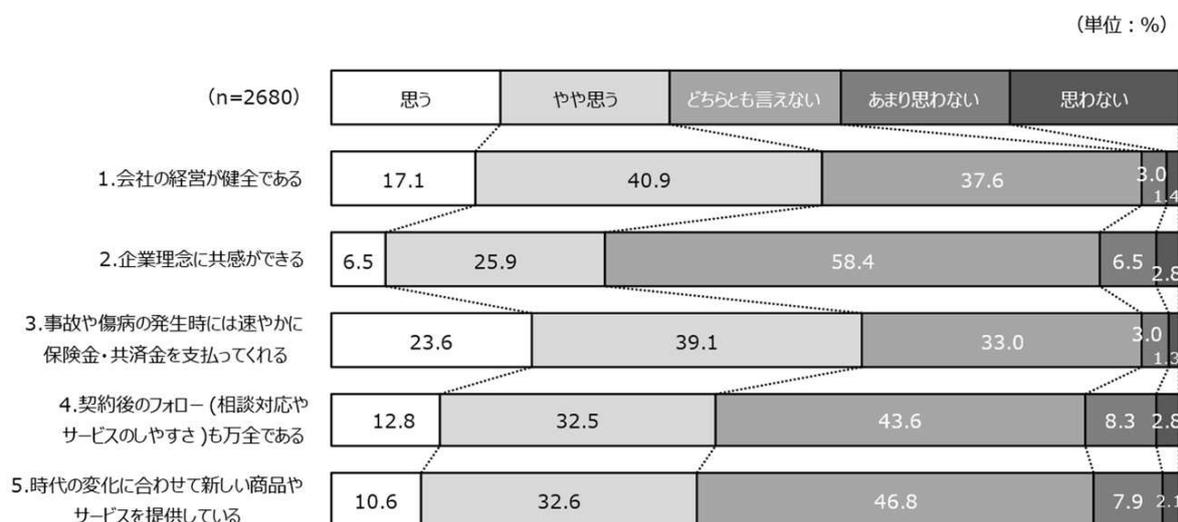
「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.4%、「どちらとも言えない」58.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.3%であった。

「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて62.7%、「どちらとも言えない」33.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると4.3%であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて45.3%、「どちらとも言えない」43.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.1%であった。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて43.2%、「どちらとも言えない」46.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると10.0%であった。

図表Ⅱ-2-14-① 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「6. 商品やサービスについて「わかりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて49.4%、「どちらとも言えない」41.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.0%であった。

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.9%、「どちらとも言えない」56.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.2%であった。

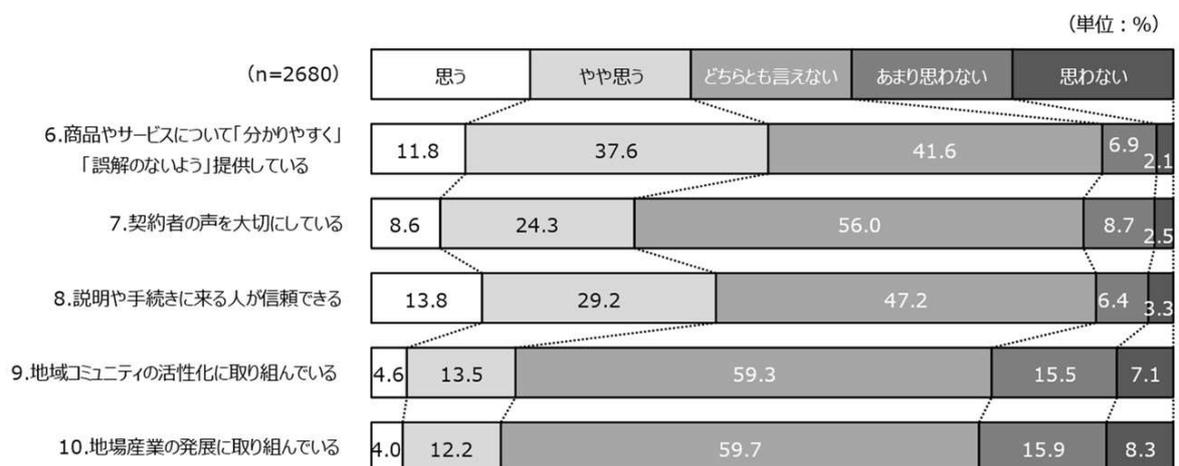
「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思

う」を合わせて43.0%、「どちらとも言えない」47.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると9.7%であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.1%、「どちらとも言えない」59.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.6%であった。

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.2%、「どちらとも言えない」59.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.2%であった。

図表Ⅱ-2-14-② 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて14.5%、「どちらとも言えない」59.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.9%であった。

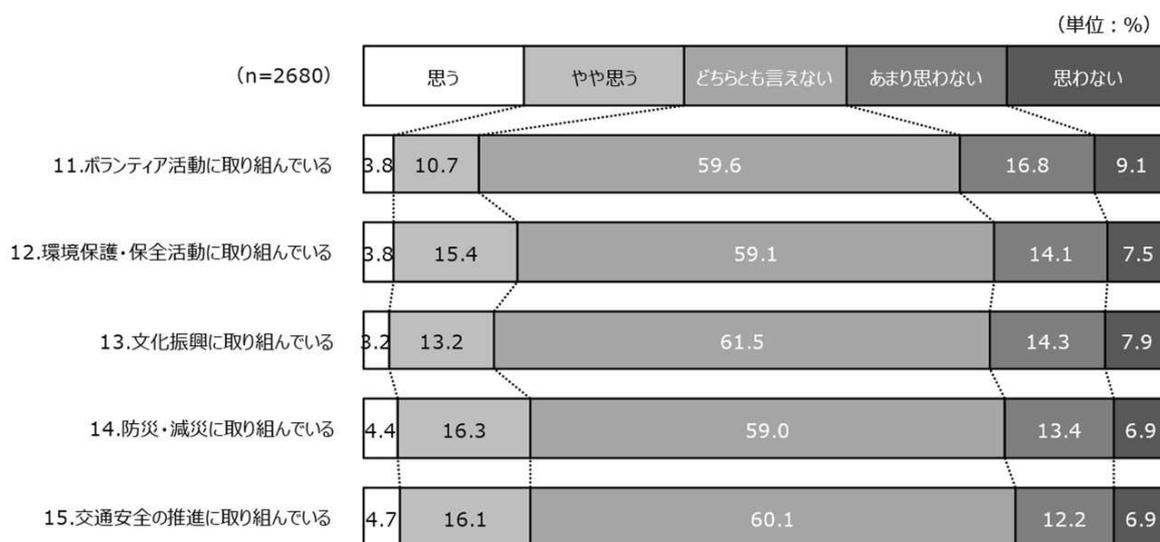
「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.2%、「どちらとも言えない」59.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.6%であった。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて16.4%、「どちらとも言えない」61.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.2%であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.7%、「どちらとも言えない」59.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.3%であった。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.8%、「どちらとも言えない」60.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.1%であった。

図表Ⅱ-2-14-③ 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

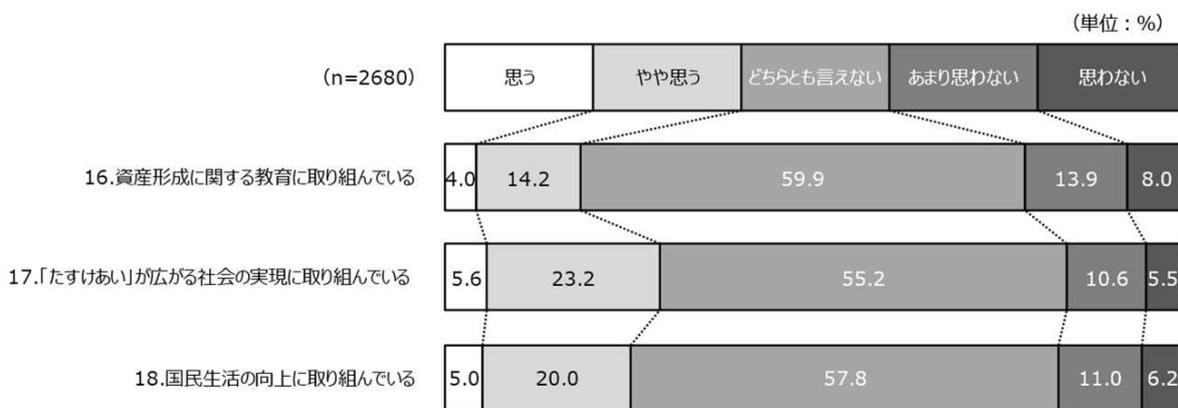
「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.2%、「どちらとも言えない」59.9%、「やや思う」「思う」を合わせると21.9%であった。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、

「思う」「やや思う」を合わせて28.8%、「どちらとも言えない」55.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.1%であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて25.0%、「どちらとも言えない」57.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.2%であった。

図表Ⅱ-2-14-④ 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>
(Q18)



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(15) 実際に契約している最も新しい契約についての考え

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての考えを聞いた（Q19）。

「1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると感じますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.9%、「どちらとも言えない」40.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると27.3%であった。

「2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると感じますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて31.7%、「どちらとも言えない」40.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせる

と27.7%であった。

「3. その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.4%、「どちらとも言えない」44.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると37.3%であった。

「4. その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.6%、「どちらとも言えない」51.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると25.6%であった。

「5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて32.7%、「どちらとも言えない」44.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.1%であった。

「6. 知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いますか」については、「思う」「やや思う」を合わせて21.9%、「どちらとも言えない」44.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると33.7%であった。

図表Ⅱ-2-15-① 保険・共済への考え<最新の契約について> (Q19)

(単位：%)

(n=2680)

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いませんか	7.3	24.6	40.8	20.8	6.5
2.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いませんか	8.2	23.5	40.7	22.4	5.3
3.その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いませんか	4.1	14.3	44.3	25.0	12.3
4.その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価できると思いませんか	3.8	18.8	51.9	17.8	7.8
5.家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	6.1	26.6	44.3	17.1	6.0
6.知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	3.8	18.1	44.4	22.6	11.1

注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

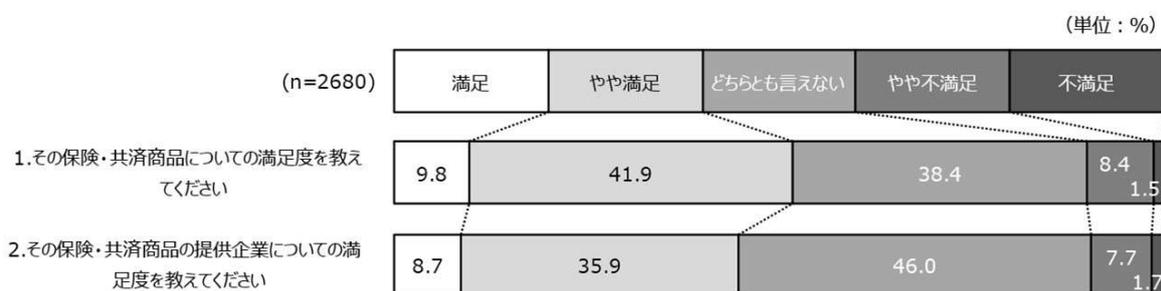
(16) 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての満足度

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）(Q16)・提供企業についての満足度を聞いた(Q20)。

「1. その保険・共済商品についての満足度を教えてください」については、「満足」「やや満足」を合わせて51.7%、「どちらとも言えない」38.4%、「やや不満足」「不満足」を合わせると9.9%であった。

「2. その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください」については、「満足」「やや満足」を合わせて44.6%、「どちらとも言えない」46.0%、「やや不満足」「不満足」を合わせると9.4%であった。

図表Ⅱ-2-16 保険・共済の満足度＜最新の契約について＞（Q20）



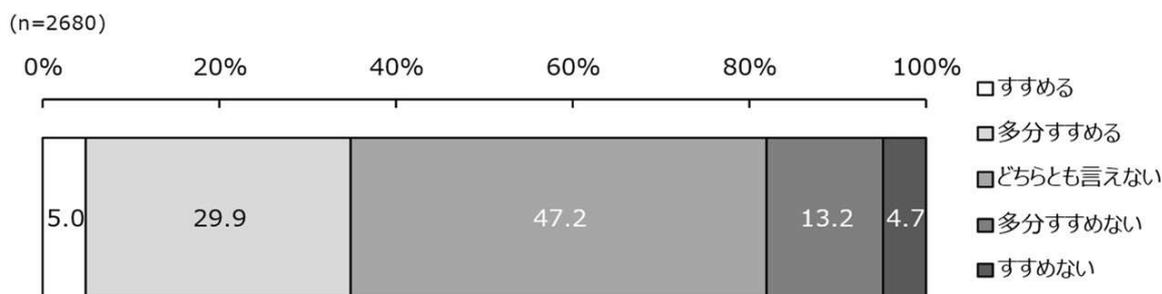
注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(17) 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての推奨意向

実際に契約している保険や共済のうちの最も新しい契約（すべて解約した場合は最後に解約した契約）（Q16）についての推奨意向を聞いた（Q21）。

「すすめる」「多分すすめる」を合わせて34.9%、「どちらとも言えない」47.2%、「多分すすめない」「すすめない」を合わせると17.9%であった。

図表Ⅱ-2-17 保険・共済の推奨意向＜最新の契約について＞（Q21）



注) Q10で「契約している、もしくはしたことがある」とした方のみ回答

(18) 契約をしたことがない人の保険・共済商品への考え

保険・共済契約をしたことがない人へ保険・共済商品についての考えを聞いた (Q22)。

「1. 生活の安心を守るのに有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて38.8%、「どちらとも言えない」46.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると14.7%であった。

「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」については、「思う」「やや思う」を合わせて41.4%、「どちらとも言えない」41.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると17.2%であった。

「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.8%、「どちらとも言えない」52.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.6%であった。

「4. 自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていることを感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.2%、「どちらとも言えない」49.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると32.0%であった。

「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.6%、「どちらとも言えない」53.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.1%であった。

図表Ⅱ-2-18-① 保険・共済商品への考え<契約をしたことがない人>

(Q22)

(単位：%)

(n=1200)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.生活の安心を守るのに有効である	7.4	31.4	46.5	9.9	4.8
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	8.2	33.2	41.5	11.4	5.8
3.日々の暮らしと切り離せないものである	4.8	20.0	52.7	15.3	7.3
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	4.6	13.6	49.8	21.4	10.6
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	4.8	17.8	53.3	15.8	8.3

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

「6. 保険料・掛金は妥当である」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.2%、「どちらとも言えない」56.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.9%であった。

「7. 保障は十分である」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.9%、「どちらとも言えない」58.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.6%であった。

「8. 商品の説明や手続は分かりやすい」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.7%、「どちらとも言えない」54.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると28.3%であった。

「9. その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.4%、「どちらとも言えない」52.5%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.2%であった。

「10. その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる」については、「思う」「やや思う」を合わせて15.3%、「どちらとも言えない」53.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると31.0%であ

った。

図表Ⅱ-2-18-② 保険・共済商品への考え<契約をしたことがない人>
(Q22)

(単位：%)

(n=1200)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6.保険料・掛金は妥当である	4.8	15.4	56.0	15.6	8.3
7.保障は十分である	4.2	13.7	58.6	15.7	7.9
8.商品の説明や手続きは分かりやすい	3.8	13.9	54.1	18.2	10.1
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	4.1	20.3	52.5	15.7	7.5
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	3.8	11.5	53.8	19.8	11.2

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

(19) 契約をしたことがない人の保険・共済商品の提供企業についての考え

保険・共済契約をしたことがない人へ保険や共済商品の提供企業についての考えを聞いた (Q23)。

「1. 会社の経営が健全である」については、「思う」「やや思う」を合わせて24.2%、「どちらとも言えない」59.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると15.9%であった。

「2. 企業理念に共感ができる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.0%、「どちらとも言えない」60.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると21.9%であった。

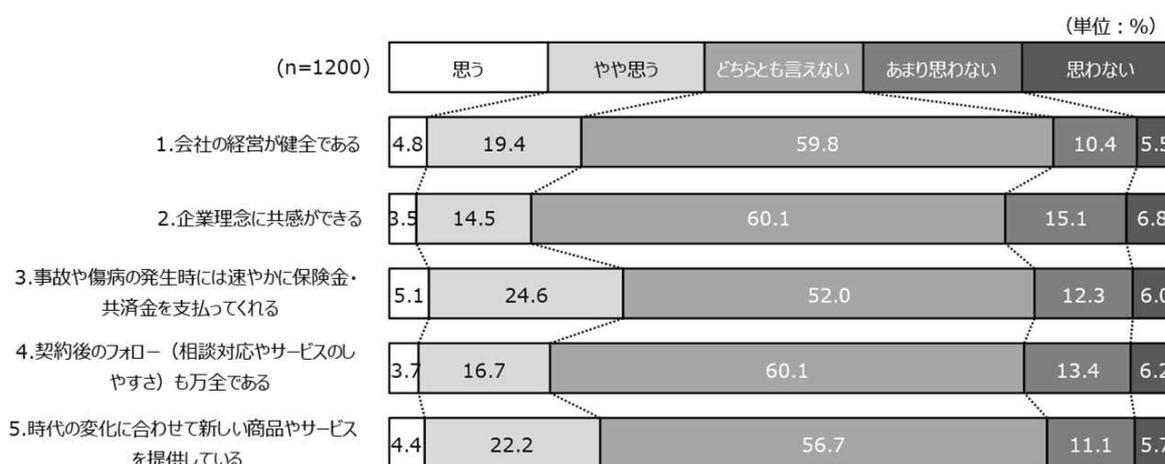
「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」については、「思う」「やや思う」を合わせて29.7%、「どちらとも言えない」52.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると18.3%であった。

「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」

については、「思う」「やや思う」を合わせて20.4%、「どちらとも言えない」60.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.6%であった。

「5. 時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて26.6%、「どちらとも言えない」56.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると16.8%であった。

図表Ⅱ-2-19-① 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人> (Q23)



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

「6. 商品やサービスについて「わかりやすく」「誤解のないよう」提供している」については、「思う」「やや思う」を合わせて23.2%、「どちらとも言えない」56.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると20.2%であった。

「7. 契約者の声を大切にしている」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.4%、「どちらとも言えない」60.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.3%であった。

「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.2%、「どちらとも言えない」60.0%、「あまり思わない」

「思わない」を合わせると19.8%であった。

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.6%、「どちらとも言えない」58.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.5%であった。

「10. 地場産業の発展に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.7%、「どちらとも言えない」58.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.0%であった。

図表Ⅱ-2-19-② 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人>
(Q23)

(単位：%)

(n=1200)	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	4.1	19.1	56.7	14.3	5.9
7.契約者の声を大切にしている	3.6	16.8	60.3	12.3	7.0
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	3.3	16.9	60.0	13.1	6.7
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	3.8	14.8	58.8	14.7	7.8
10.地場産業の発展に取り組んでいる	3.5	14.2	58.3	15.9	8.1

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

「11. ボランティア活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて18.2%、「どちらとも言えない」55.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると26.5%であった。

「12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.6%、「どちらとも言えない」58.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.5%であった。

「13. 文化振興に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合

わせて18.3%、「どちらとも言えない」58.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.6%であった。

「14. 防災・減災に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて19.9%、「どちらとも言えない」57.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.9%であった。

「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて20.3%、「どちらとも言えない」56.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると23.5%であった。

図表Ⅱ-2-19-③ 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人>
(Q23)

	(単位：%)				
	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
11. ボランティア活動に取り組んでいる	3.4	14.8	55.4	17.2	9.3
12. 環境保護・保全活動に取り組んでいる	4.0	15.6	58.0	14.2	8.3
13. 文化振興に取り組んでいる	3.3	15.0	58.1	15.0	8.6
14. 防災・減災に取り組んでいる	4.1	15.8	57.3	14.3	8.6
15. 交通安全の推進に取り組んでいる	4.7	15.6	56.3	15.7	7.8

注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

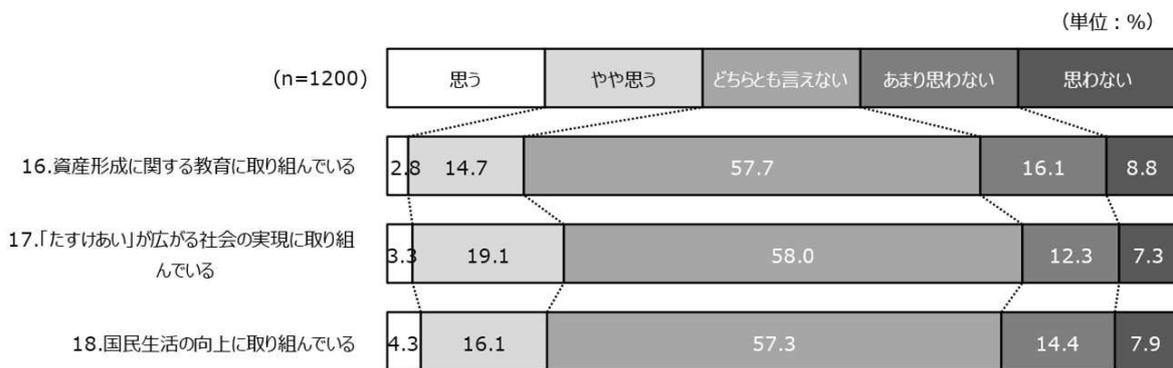
「16. 資産形成に関する教育に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて17.5%、「どちらとも言えない」57.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると24.9%であった。

「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」を合わせて22.4%、「どちらとも言えない」58.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると19.6%であった。

「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」については、「思う」「やや思う」

を合わせて20.4%、「どちらとも言えない」57.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせると22.3%であった。

図表Ⅱ-2-19-④ 保険・共済提供企業への考え<契約をしたことがない人>
(Q23)



注) Q10で「検討したが契約をしたことがない」「検討自体したことがない人」とした方のみ回答

Ⅲ 主な項目にかかる前回調査との経年比較

本調査は時系列で行うものとして位置づけ、これまで2021年3月および2022年12月に実施した。前回と今回調査の間は2年弱という短期間ではあるが、経年変化として比較を試みた。

また、本節では選択割合を示す数値を用いての詳述は行わずに、大まかな傾向を捉えて概括しての記述を行うものとし、前回調査からの変化に特徴が見られた主な項目について紹介する。なお、前回調査からの選択肢の変更等により、単純に比較することが難しい項目についても参考として記載したものもあるが、比較結果の理解については取扱いに注意を要するものとしてご理解をいただきたい。

1. 生活・消費スタイル

(1) 生活スタイル

「あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。」との質問に対して、「該当する」「やや該当する」の合計で見ると、「6. 気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる」「9. 伝統や常識を重んじる方だ」「10. 経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ」の3項目ではやや上昇した。

身近な人との関わり、保守的な価値観や心の豊かさを重視する人の割合が増加したと考えられる。その他の選択割合が低下した項目については、生活の余裕や社会一般との関わりを示すものである。

図表Ⅲ-1-1 生活スタイル (Q3)

Q3.あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。

2020年度(n=3891)
2022年度(n=3880)

		該当する	やや該当する	どちらとも言えない	あまり該当しない	該当しない
1.環境に配慮した生活を送りたい	20	13.2	43.1	30.7	8.7	4.3
	22	10.3	40.6	34.5	9.6	5.0
2.自然と親しむのが好きだ	20	17.1	39.3	28.9	10.7	4.0
	22	16.1	38.4	28.8	12.4	4.3
3.健康管理には気をつけている方だ	20	15.9	43.4	29.0	9.3	2.4
	22	14.1	43.7	28.0	11.2	3.1
4.地域活動やボランティア活動に取り組みたい	20	4.1	15.3	37.0	27.3	16.2
	22	3.1	15.4	32.9	28.7	19.9
5.社会貢献に関心がある	20	5.3	22.6	38.1	22.6	11.4
	22	4.5	21.2	36.0	25.0	13.3
6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる	20	12.3	38.6	31.9	12.4	4.8
	22	11.0	41.0	29.3	12.7	5.9
7.流行に敏感な方だ	20	4.7	18.1	40.0	25.7	11.5
	22	3.7	16.4	35.5	29.5	15.0
8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ	20	8.2	36.9	36.5	14.1	4.2
	22	8.5	35.7	34.4	16.1	5.3
9.伝統や常識を重んじる方だ	20	6.3	31.9	41.7	14.9	5.2
	22	6.6	34.5	37.2	16.0	5.6
10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ	20	7.5	28.6	50.1	10.6	3.2
	22	8.3	29.3	48.2	10.8	3.3

(2) 消費スタイル

「あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。」との質問に対して、「該当する」「やや該当する」の合計で見ると、「11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ」「14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ」とする人の割合は低下した。また、「12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ」とする人の割合に大きな変化はなかった。

環境への配慮や高品質かどうかよりも、安価な商品を選ぶ人の割合が高まる一方で、知名度のあるブランドを選択する人の割合に大きな変化はなかった。

図表Ⅲ-1-2 消費スタイル（Q3）

Q3.あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。

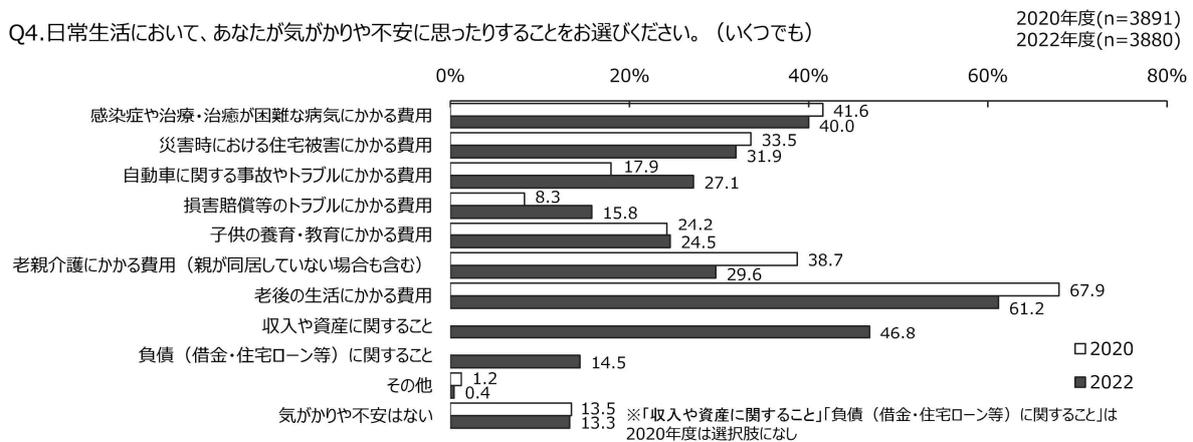
2020年度(n=3891)
2022年度(n=3880)

		該当する	やや該当する	どちらとも言えない	あまり該当しない	該当しない
11. 多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ	20	3.0	20.1	44.5	24.4	8.0
	22	2.6	16.0	42.5	27.5	11.5
12. 通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ	20	4.3	26.1	42.8	20.1	6.7
	22	4.3	26.4	42.2	19.2	7.9
13. 総じて価格重視で安いものを選んでいる	20	8.4	29.6	44.2	14.3	3.4
	22	11.2	36.8	37.0	11.6	3.5
14. 多少高くても品質の良いものを選ぶ	20	6.2	34.2	43.7	12.9	3.0
	22	5.5	30.6	43.4	16.2	4.3
15. 商品を買う前に色々情報を集めてから買う	20	16.7	41.9	31.4	7.7	2.4
	22	17.7	43.4	27.5	9.3	2.1
16. 購入のしやすさで商品を選ぶことが多い	20	5.1	34.8	45.6	11.5	3.0
	22	5.9	40.5	40.3	10.7	2.5
17. 売れ筋商品を選ぶことが多い	20	4.2	31.5	46.9	13.6	3.8
	22	4.4	34.1	44.4	13.4	3.7
18. 商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ	20	4.6	27.8	43.7	18.1	5.8
	22	4.6	29.4	39.6	19.7	6.6
19. 他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ	20	8.5	31.3	46.4	11.2	2.6
	22	9.9	34.9	42.1	10.5	2.7

2. 日常生活における気がかりなことや不安に思うこと

「日常生活において、あなたが気がかりや不安に思ったりすることをお選びください。（いくつでも）」との質問については、今回調査において、選択肢として「収入や資産に関すること」「負債（借金・住宅ローン等）に関すること」を新設するとともに、各選択肢について金銭的な費用に関する内容であることを明確化した。このため、前回との単純な比較は難しいものと考えられる。しかしながら、「自動車に関する事故やトラブルにかかる費用」「損害賠償等のトラブルにかかる費用」については、他の選択肢の割合が低下したのに対して、逆に割合が高まった。

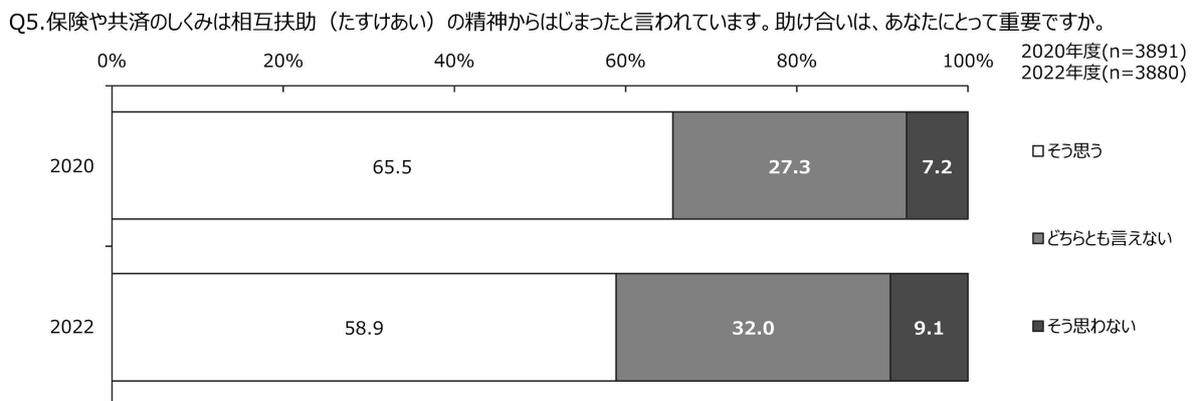
図表Ⅲ-2 日常生活における気がかりや不安 (Q4)



3. 保険や共済の仕組みにみられるような助け合いの重要性

「保険や共済のしくみは相互扶助 (たすけあい) の精神からはじまったといわれています。助け合いは、あなたにとって重要ですか。」との質問に対して、「そう思う」とする人の割合は前回に比べて低下した。

図表Ⅲ-3 助け合いの重要性 (Q5)



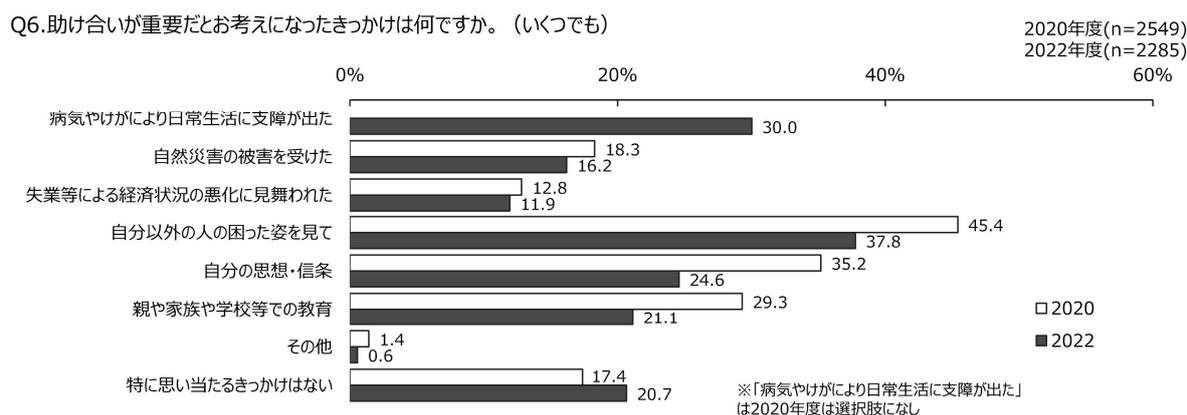
4. 助け合いが重要だと考えたきっかけ

「助け合いが重要だとお考えになったきっかけは何ですか。(いくつでも)」との質問に対して、「特に思い当たるきっかけはない」とする割合が上昇しているが、その他の選択肢の割合は低下している。

他方で、新設した選択肢である「病気やけがにより日常生活に支障が出た」

の割合が、今回調査においては2番目に高い割合を示している。病気やけがといった身近で目にすることが多いと考えられる内容に関する選択肢の新設により、他の選択肢の割合が低下した可能性があると思われる。

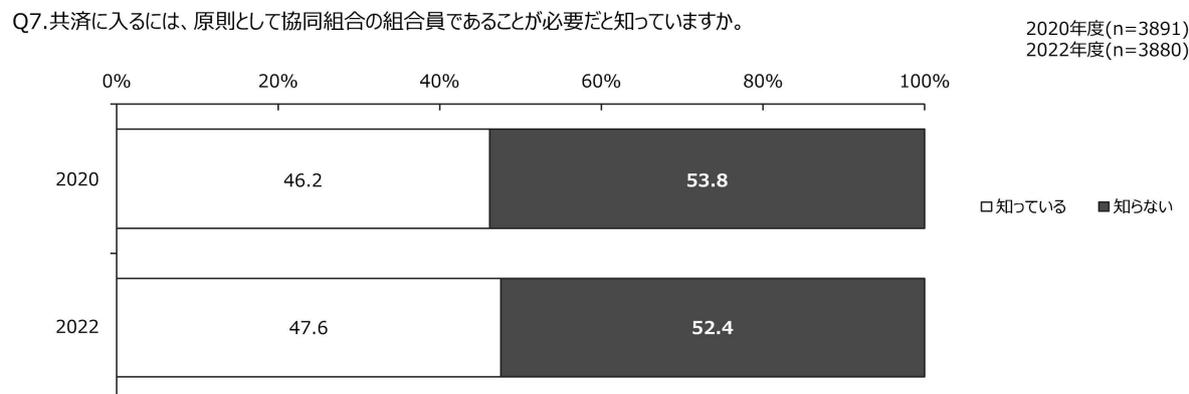
図表Ⅲ-4 助け合いが重要だと考えたきっかけ（Q6）



5. 共済に加入する際に組合員であることが必要であることの認知

「共済に入るには、原則として協同組合の組合員であることが必要だと知っていますか。」という認知度に関する質問に対する回答では、「知っている」とする人の割合がわずかであるが高まった。

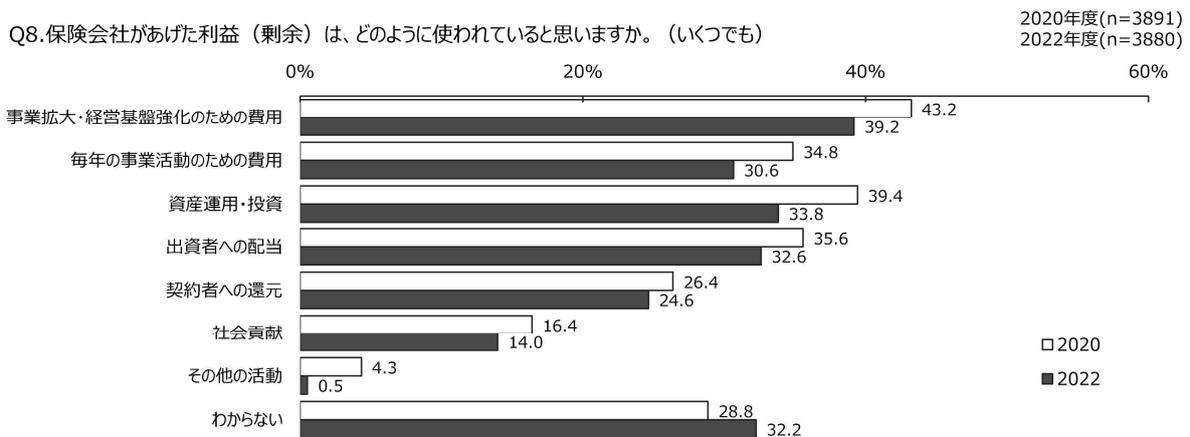
図表Ⅲ-5 共済に入る際に原則として組合員であることが必要だと知っているか（Q7）



6. 保険会社があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

「保険会社があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。（いくつでも）」との質問に対し、「わからない」とする割合が高まり、その他の選択肢の割合は全て低下した。

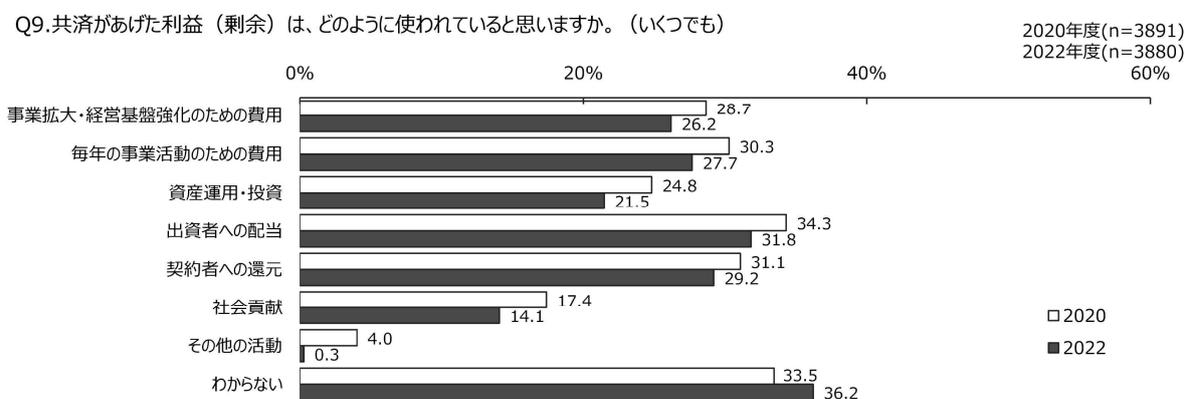
図表Ⅲ-6 保険会社の利益使途にかかるイメージ（Q8）



7. 共済があげた利益（剰余）の使われ方のイメージ

「共済があげた利益（剰余）は、どのように使われていると思いますか。（いくつでも）」との質問に対し、「わからない」とする割合が高まり、その他の選択肢の割合は全て低下した。

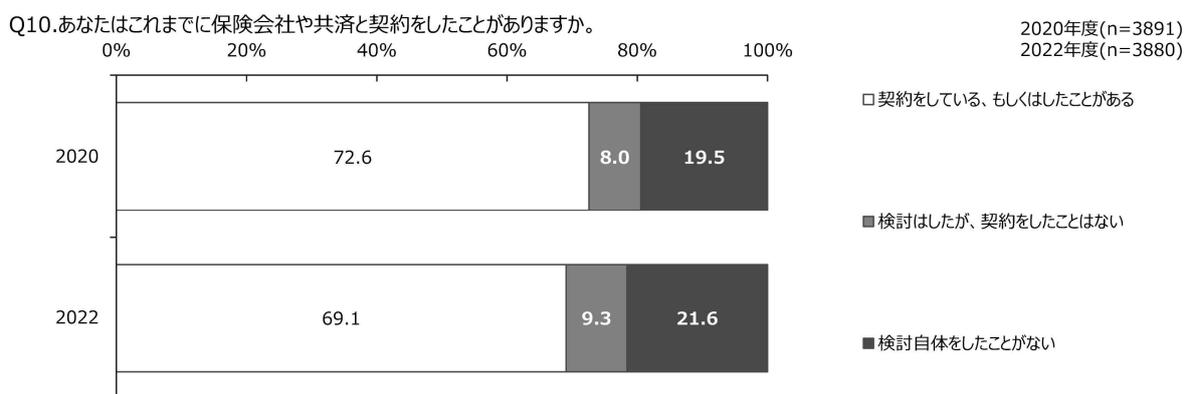
図表Ⅲ-7 共済の利益使途にかかるイメージ（Q9）



8. 保険や共済の契約経験の有無

「これまでに保険会社や共済と契約をしたことがありますか。」との質問に対し、「契約をしている、もしくはしたことがある」とする割合はやや低下した。

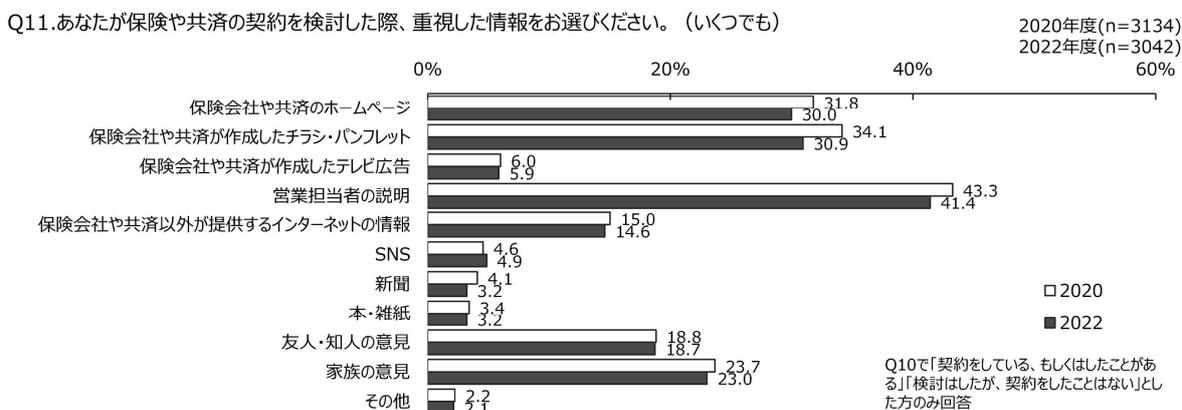
図表Ⅲ-8 保険や共済の契約経験の有無（Q10）



9. 契約を検討した際に重視した情報

「あなたが保険や共済の契約を検討した際、重視した情報をお選びください。（いくつでも）」との質問に対し、「SNS」を重視した人の割合がわずかに増加し、その他の選択肢では全て低下した。

図表Ⅲ-9 保険や共済の契約を検討した際に重視した情報（Q11）

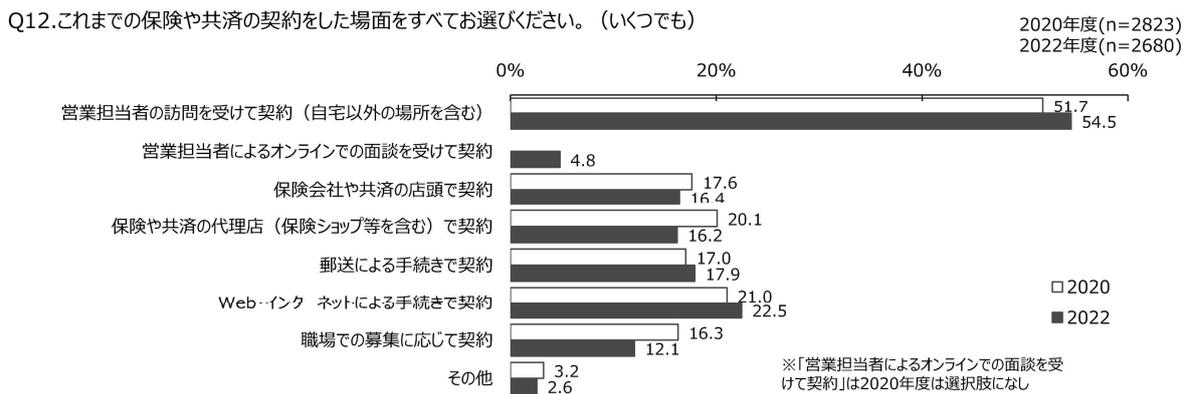


10. これまでに保険や共済の契約をした場面

「これまでの保険や共済の契約をした場をすべてお選びください。(いくつでも)」との質問に対し、「保険会社や共済の店頭で契約」「保険や共済の代理店(保険ショップ等を含む)で契約」「職場での募集に応じて契約」については低下した。

他方で、「郵送による手続きで契約」「Web・インターネットによる手続きで契約」といった非接触での契約場面の割合および「営業担当者の訪問を受けて契約(自宅以外の場所を含む)」という直接的な接触による契約場面の割合が高まった。

図表Ⅲ-10 保険・共済の契約場面 (Q12)



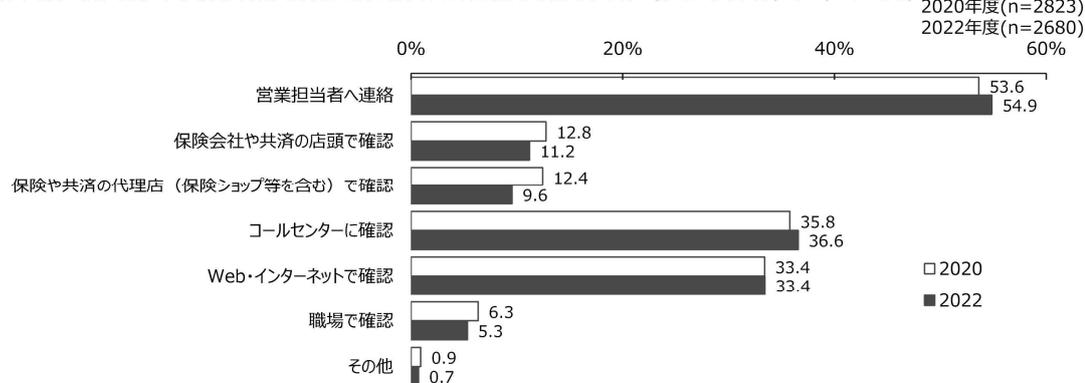
11. 加入後の疑問の確認方法

「保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか(していましたか)。(いくつでも)」との質問に対し、「保険会社や共済の店頭で確認」「保険や共済の代理店(保険ショップ等を含む)で確認」という直接的な接触による確認が低下し、「営業担当者へ連絡」「コールセンターに確認」がやや上昇した。

なお、「Web・インターネットで確認」は変化がなかった。

図表Ⅲ-11 保険・共済加入後の疑問の確認方法（Q13）

Q13. 保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか（していましたか）。（いくつでも）



12. 実際に契約している保険・共済商品への考え

回答者が実際に契約をしている保険・共済商品への考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、「2. 不幸な出来事から生活を再建するために有効である」「3. 日々の暮らしと切り離せないものである」「8. 契約した商品の説明や手続きは分かりやすい」とする人の割合が高まった。万一に備えての有効性や暮らしに不可分なものであるとの認知が向上したと考えられる。

また、「4. 自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていることを感じられる」はやや低下した一方で、「5. 保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している」と考える人の割合がわずかに上昇した。

図表Ⅲ-12 保険・共済商品についての考え<最新の契約について> (Q17)

Q17. ■これ以降の設問は、Q16で回答した保険会社についてお伺いします。その保険・共済商品について、あなたの考えをお聞かせください。

		2020年度(n=2823)					2022年度(n=2680)				
		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.生活の安心を守るのに有効である	20	22.9	48.7	22.7	4.3	1.3	22.1	49.6	22.9	3.7	1.8
	22	22.1	48.7	22.7	4.3	1.3	22.1	49.6	22.9	3.7	1.8
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	20	20.0	43.2	28.5	6.3	2.0	20.4	48.5	23.5	5.6	2.0
	22	20.4	48.5	23.5	5.6	2.0	20.4	48.5	23.5	5.6	2.0
3.日々の暮らしと切り離せないものである	20	11.7	31.7	41.7	12.0	3.0	12.4	35.5	37.1	11.8	3.2
	22	11.7	31.7	41.7	12.0	3.0	12.4	35.5	37.1	11.8	3.2
4.自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	20	6.8	21.0	44.0	19.0	9.1	6.0	20.0	36.5	24.7	12.8
	22	6.8	21.0	44.0	19.0	9.1	6.0	20.0	36.5	24.7	12.8
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	20	6.2	24.7	48.1	14.8	6.3	6.8	25.4	44.8	16.4	6.6
	22	6.2	24.7	48.1	14.8	6.3	6.8	25.4	44.8	16.4	6.6
6.契約した商品の保険料・掛金は妥当である	20	10.0	35.0	40.3	11.7	3.0	11.2	33.4	39.3	12.7	3.4
	22	10.0	35.0	40.3	11.7	3.0	11.2	33.4	39.3	12.7	3.4
7.契約した商品の保障は十分である	20	10.4	36.0	41.3	9.8	2.3	10.9	35.3	40.8	10.1	2.9
	22	10.4	36.0	41.3	9.8	2.3	10.9	35.3	40.8	10.1	2.9
8.契約した商品の説明や手続きは分かりやすい	20	11.5	36.7	40.9	8.7	2.1	11.7	38.1	37.0	9.5	3.7
	22	11.5	36.7	40.9	8.7	2.1	11.7	38.1	37.0	9.5	3.7

13. 実際に契約している保険・共済商品の提供企業への考え

回答者が実際に契約をしている保険・共済商品の提供企業についての考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、「3. 事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる」「6. 商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している」「8. 説明や手続きに来る人が信頼できる」がやや上昇した。日常的な事業運営に対する評価が高まったと考えられる。

他方で、「2. 企業理念に共感ができる」「4. 契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である」「7. 契約者の声を大切にしている」はやや低下した。

図表Ⅲ-13-1 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について> (Q18)

Q18.その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。

2020年度(n=2823)
2022年度(n=2680)

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1.会社の経営が健全である	20	14.9	43.0	37.8	0.9 3.4
	22	17.1	40.9	37.6	1.4 3.0
2.企業理念に共感ができる	20	6.9	26.8	58.5	1.5 6.2
	22	6.5	25.9	58.4	2.8 6.5
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	20	19.7	40.2	36.5	0.7 2.9
	22	23.6	39.1	33.0	1.3 3.0
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	20	12.1	35.3	44.4	1.6 6.6
	22	12.8	32.5	43.6	2.8 8.3
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	20	9.9	32.6	50.9	1.0 5.6
	22	10.6	32.6	46.8	2.1 7.9
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	20	10.5	36.1	45.9	1.3 6.2
	22	11.8	37.6	41.6	2.1 6.9
7.契約者の声を大切にしている	20	8.3	25.3	57.5	1.6 7.3
	22	8.6	24.3	56.0	2.5 8.7
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	20	12.1	29.4	49.9	2.1 6.4
	22	13.8	29.2	47.2	3.3 6.4
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	20	4.4	15.1	63.2	4.2 13.1
	22	4.6	13.5	59.3	7.1 15.5

「9. 地域コミュニティの活性化に取り組んでいる」から「18. 国民生活の向上に取り組んでいる」までの項目では、「思う」「やや思う」の合計の割合が1. から8. までの質問に比較して低い中であって、「14. 防災・減災に取り組んでいる」「15. 交通安全の推進に取り組んでいる」「17. 「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる」などの項目ではやや上昇した。

図表Ⅲ-13-2 保険・共済提供企業への考え<最新の契約について>(Q18)

Q18.その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。

2020年度(n=2823)
2022年度(n=2680)

	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
10.地場産業の発展に取り組んでいる	4.1	14.0	62.0	15.2	4.7
22	4.0	12.2	59.7	15.9	8.3
11.ボランティア活動に取り組んでいる	3.4	11.4	63.9	16.1	5.2
22	3.8	10.7	59.6	16.8	9.1
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	4.1	14.9	62.9	13.8	4.3
22	3.8	15.4	59.1	14.1	7.5
13.文化振興に取り組んでいる	3.8	12.6	64.2	14.7	4.7
22	3.2	13.2	61.5	14.3	7.9
14.防災・減災に取り組んでいる	4.2	15.6	63.5	12.8	3.8
22	4.4	16.3	59.0	13.4	6.9
15.交通安全の推進に取り組んでいる	4.4	15.1	64.2	12.3	4.1
22	4.7	16.1	60.1	12.2	6.9
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	3.6	14.1	65.3	12.4	4.6
22	4.0	14.2	59.9	13.9	8.0
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	5.5	21.6	59.3	10.2	3.4
22	5.6	23.2	55.2	10.6	5.5
18.国民生活の向上に取り組んでいる	5.5	19.9	61.4	10.0	3.2
22	5.0	20.0	57.8	11.0	6.2

14. 実際に契約している最も新しい契約についての考え

回答者が実際に契約をしている最も新しい保険・共済商品への考えについて、「思う」「やや思う」の合計で見ると、「1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いませんか」「2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いませんか」における割合が上昇し、推奨行動につながりにくい印象の割合が高まったと考えられる。

また「5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話する機会があると思いませんか」について、やや上昇した。

図表Ⅲ-14 保険・共済への考え<最新の契約について> (Q19)

Q19. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。

2020年度(n=2823)
2022年度(n=2680)

		思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
1. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いませんか	20	6.4	24.1	42.5	21.7	5.3
	22	7.3	24.6	40.8	20.8	6.5
2. その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎると思いませんか	20	6.1	22.3	45.7	21.6	4.3
	22	8.2	23.5	40.7	22.4	5.3
3. その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いませんか	20	3.7	16.4	49.7	22.5	7.7
	22	4.1	14.3	44.3	25.0	12.3
4. その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価出来ると思いませんか	20	4.0	19.2	53.9	18.2	4.7
	22	3.8	18.8	51.9	17.8	7.8
5. 家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	20	5.2	25.0	50.0	16.6	3.2
	22	6.1	26.6	44.3	17.1	6.0
6. 知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	20	3.3	18.7	52.0	19.8	6.2
	22	3.8	18.1	44.4	22.6	11.1

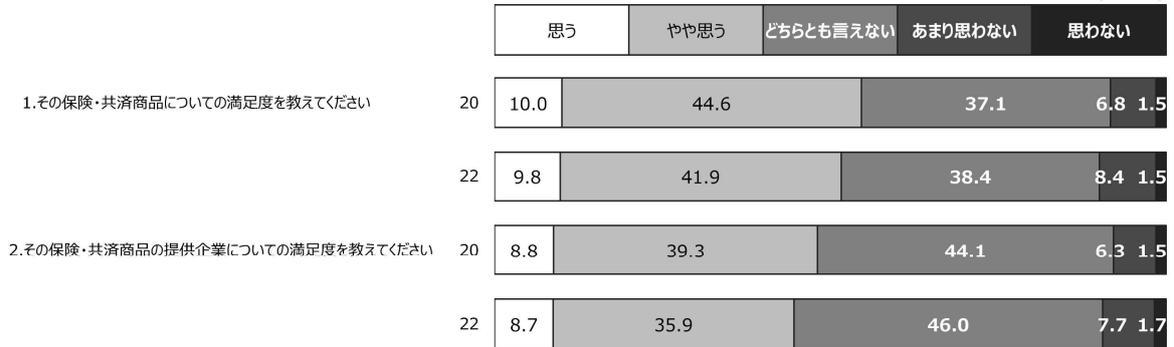
15. 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての満足度

実際に契約している契約のうち最も新しい契約・提供企業について、「思う」「やや思う」の合計で見ると、商品・提供企業ともに満足度が低下した。

図表Ⅲ-15 保険・共済の満足度<最新の契約について> (Q20)

Q20. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。

2020年度(n=2823)
2022年度(n=2680)



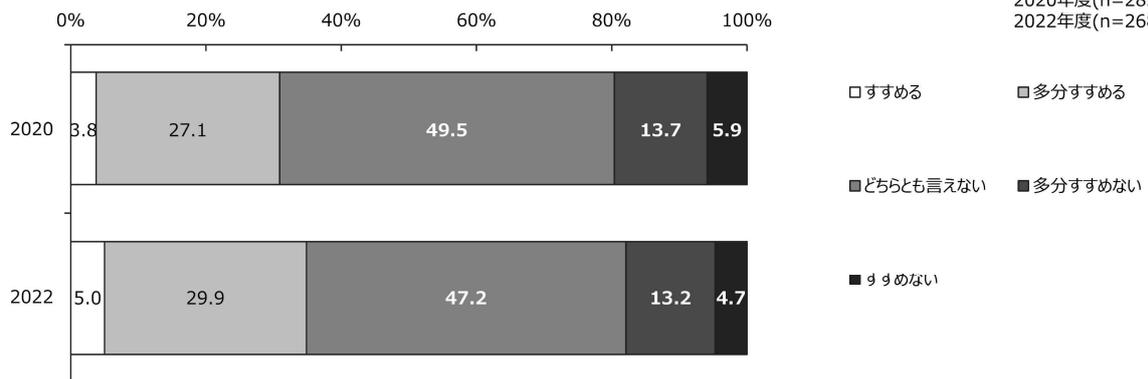
16. 実際に契約している最も新しい契約・提供企業についての推奨意向

実際に契約している最も新しい保険・共済商品が、「家族や知人、職場の同僚といった人たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。」との質問について、「すすめる」「多分すすめる」を合わせた割合は、やや増加した。

図表Ⅲ-16 保険・共済の推奨意向<最新の契約について> (Q21)

Q21. あなたはその保険・共済商品が、家族や知人、職場の同僚といった人たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。

2020年度(n=2823)
2022年度(n=2680)



資料編 単純集計結果

「2022年度 共済事業にかかる認知度等調査」の単純集計

Q1. あなたのお仕事についてお選びください。(単一回答)

	n	%
全体	3880	100.0
自営業	211	5.4
正規の職員・従業員	1762	45.4
契約社員、パート、アルバイト、嘱託	928	23.9
派遣労働者	59	1.5
役員	63	1.6
その他	85	2.2
自ら収入を得る仕事はしていない	772	19.9

Q2. あなたの同居者について、該当する方をお選びください。義理の関係も含めてお選びください。(いくつでも)

	n	%
全体	3880	100.0
配偶者・パートナー	2320	59.8
親	833	21.5
子(未就学児)	502	12.9
子(小学生・中学生)	526	13.6
子(高校生以上の学生)	369	9.5
子(社会人)	380	9.8
孫	25	0.6
その他	201	5.2
同居人はいない	771	19.9

Q3. あなたの生活・消費スタイルについてお答えください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

	n — %	該 当 す る	や や 該 当 す る	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 該 当 し な い	該 当 し な い
1.環境に配慮した生活を送りたい	3880 100.0	400 10.3	1574 40.6	1339 34.5	373 9.6	194 5.0
2.自然と親しむのが好きだ	3880 100.0	623 16.1	1490 38.4	1116 28.8	483 12.4	168 4.3
3.健康管理には気をつけている方だ	3880 100.0	546 14.1	1694 43.7	1086 28.0	433 11.2	121 3.1
4.地域活動やボランティア活動に取り組みたい	3880 100.0	119 3.1	597 15.4	1278 32.9	1115 28.7	771 19.9
5.社会貢献に関心がある	3880 100.0	174 4.5	824 21.2	1396 36.0	969 25.0	517 13.3
6.気に入ったものや情報があれば、家族や友人にその良さを知らせる	3880 100.0	428 11.0	1591 41.0	1137 29.3	494 12.7	230 5.9
7.流行に敏感な方だ	3880 100.0	142 3.7	636 16.4	1378 35.5	1143 29.5	581 15.0
8.世の中の物事に対して広く関心がある方だ	3880 100.0	331 8.5	1384 35.7	1334 34.4	624 16.1	207 5.3
9.伝統や常識を重んじる方だ	3880 100.0	257 6.6	1340 34.5	1442 37.2	622 16.0	219 5.6
10.経済的な豊かさよりも心の豊かさが大切だ	3880 100.0	321 8.3	1138 29.3	1872 48.2	420 10.8	129 3.3
11.多少高くても環境に配慮した商品を選ぶ方だ	3880 100.0	100 2.6	619 16.0	1648 42.5	1066 27.5	447 11.5
12.通常の購入では無名ブランドのものより知られているブランドを選ぶ	3880 100.0	166 4.3	1026 26.4	1639 42.2	744 19.2	305 7.9
13.総じて価格重視で安いものを選んでる	3880 100.0	433 11.2	1427 36.8	1434 37.0	452 11.6	134 3.5
14.多少高くても品質の良いものを選ぶ	3880 100.0	214 5.5	1189 30.6	1683 43.4	629 16.2	165 4.3
15.商品を買う前に色々情報を集めてから買う	3880 100.0	687 17.7	1684 43.4	1068 27.5	359 9.3	82 2.1
16.購入のしやすさで商品を選ぶことが多い	3880 100.0	230 5.9	1572 40.5	1563 40.3	417 10.7	98 2.5
17.売れ筋商品を選ぶことが多い	3880 100.0	169 4.4	1325 34.1	1721 44.4	520 13.4	145 3.7
18.商品を選ぶ際は他人の意見を参考にする方だ	3880 100.0	180 4.6	1141 29.4	1538 39.6	764 19.7	257 6.6
19.他人がどう思おうが自分の考えを重視する方だ	3880 100.0	383 9.9	1354 34.9	1632 42.1	406 10.5	105 2.7

Q4. 日常生活において、あなたが気がかりや不安に思ったりすることをお選びください。(いくつでも)

	n	%
全体	3880	100.0
感染症や治療・治癒が困難な病気にかかる費用	1552	40.0
災害時における住宅被害にかかる費用	1237	31.9
自動車に関する事故やトラブルにかかる費用	1053	27.1
損害賠償等のトラブルにかかる費用	613	15.8
子供の養育・教育にかかる費用	952	24.5
老親介護にかかる費用(親が同居していない場合も含む)	1150	29.6
老後の生活にかかる費用	2374	61.2
収入や資産に関すること	1816	46.8
負債(借金・住宅ローン等)に関すること	562	14.5
その他:	17	0.4
気がかりや不安はない	517	13.3

Q5. 保険や共済のしくみは相互扶助(たすけあい)の精神からはじまったと言われてしています。助け合いは、あなたにとって重要ですか。(単一回答)

	n	%
全体	3880	100.0
そう思う	2285	58.9
そう思わない	352	9.1
どちらとも言えない	1243	32.0

Q6. 助け合いが重要だとお考えになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

【Q5で「そう思う」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2285	100.0
病気やけがにより日常生活に支障が出た	686	30.0
自然災害の被害を受けた	370	16.2
失業等による経済状況の悪化に見舞われた	273	11.9
自分以外の人困った姿を見て	863	37.8
自分の思想・信条	562	24.6
親や家族や学校等での教育	483	21.1
その他:	13	0.6
特に思い当たるきっかけはない	472	20.7

Q7. 共済に入るには、原則として協同組合の組合員であることが必要だと知っていますか。(単一回答)

	n	%
全体	3880	100.0
知っている	1845	47.6
知らない	2035	52.4

Q8. 保険会社があげた利益(剰余)は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	3880	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	1520	39.2
毎年の事業活動のための費用	1189	30.6
資産運用・投資	1312	33.8
出資者への配当	1265	32.6
契約者への還元	956	24.6
社会貢献	542	14.0
その他の活動:	20	0.5
わからない	1251	32.2

Q9. 共済があげた利益(剰余)は、どのように使われていると思いますか。(いくつでも)

	n	%
全体	3880	100.0
事業拡大・経営基盤強化のための費用	1016	26.2
毎年の事業活動のための費用	1074	27.7
資産運用・投資	833	21.5
出資者への配当	1235	31.8
契約者への還元	1133	29.2
社会貢献	546	14.1
その他の活動:	11	0.3
わからない	1405	36.2

Q10. あなたはこれまでに保険会社や共済と契約をしたことがありますか。

(単一回答)

	n	%
全体	3880	100.0
契約をしている、もしくはしたことがある	2680	69.1
検討はしたが、契約をしたことはない	362	9.3
検討自体をしたことがない	838	21.6

Q11. あなたが保険や共済の契約を検討した際、重視した情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」「検討はしたが、契約をしたことはない」とした方のみ回答】

	n	%
全体	3042	100.0
保険会社や共済のホームページ	912	30.0
保険会社や共済が作成したチラシ・パンフレット	941	30.9
保険会社や共済が作成したテレビ広告	178	5.9
営業担当者の説明	1260	41.4
保険会社や共済以外が提供するインターネットの情報	444	14.6
SNS	148	4.9
新聞	98	3.2
本・雑誌	98	3.2
友人・知人の意見	570	18.7
家族の意見	700	23.0
その他：	65	2.1

Q12. これまでの保険や共済の契約をした場面をすべてお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
営業担当者の訪問を受けて契約（自宅以外の場所を含む）	1460	54.5
営業担当者によるオンラインでの面談を受けて契約	129	4.8
保険会社や共済の店頭で契約	440	16.4
保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で契約	434	16.2
郵送による手続きで契約	480	17.9
Web・インターネットによる手続きで契約	602	22.5
職場での募集に応じて契約	323	12.1
その他：	69	2.6

Q13. 保険や共済へ加入後に、手続きや疑問が発生した場合、どの方法で確認しますか（していましたか）。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
営業担当者へ連絡	1470	54.9
保険会社や共済の店頭で確認	300	11.2
保険や共済の代理店（保険ショップ等を含む）で確認	256	9.6
コールセンターに確認	980	36.6
Web・インターネットで確認	896	33.4
職場で確認	143	5.3
その他：	19	0.7

Q14. 保険会社や共済の経営状況や健全性、社会貢献活動などの情報は、ホームページやディスクロージャー誌、ファクトブックなどで公開されています。関心のある情報をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
組織の概要	391	14.6
事業の概況	652	24.3
契約の加入実績や保険金・共済金の支払い状況	1108	41.3
決算関係書類・財務諸表・運用資産諸表など	471	17.6
経営の健全性に関わる状況	714	26.6
総会（総代会）の開催状況	98	3.7
社会貢献やSDGsなどの取組み状況	244	9.1
その他：	3	0.1
関心がない	1070	39.9

Q15. あなたが実際に契約されている（されていた）保険会社や共済をお選びください。(いくつでも)

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
日本生命	547	20.4
第一生命	402	15.0
明治安田生命	373	13.9
かんぽ生命	397	14.8
アフラック	551	20.6
メットライフ生命	222	8.3
ライフネット生命	57	2.1
その他の生命保険会社	967	36.1
東京海上日動火災	663	24.7
損害保険ジャパン	507	18.9
三井住友海上火災	310	11.6
共栄火災海上	28	1.0
あいおいニッセイ同和	271	10.1
ソニー損保	197	7.4
AIG損保	93	3.5
その他の損害保険会社	361	13.5
いずれかの少額短期保険会社	81	3.0
JA共済（農協の共済）	352	13.1
JF共済（漁協の共済）	9	0.3
こくみん共済 coop <全労済>	328	12.2
コープ共済（CO・OP共済）	329	12.3
都道府県民共済 <全国生協連>	542	20.2
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済 <中小企業共済、〇〇市民共済など>	127	4.7
その他の共済	95	3.5

Q16. あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」をひとつ選択してください。すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」をお選びください。（単一回答）

【Q10で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
日本生命	163	6.1
第一生命	103	3.8
明治安田生命	106	4.0
かんぽ生命	84	3.1
アフラック	141	5.3
メットライフ生命	93	3.5
ライフネット生命	21	0.8
その他の生命保険会社	390	14.6
東京海上日動火災	211	7.9
損害保険ジャパン	155	5.8
三井住友海上火災	100	3.7
共栄火災海上	2	0.1
あいおいニッセイ同和	74	2.8
ソニー損保	78	2.9
AIG損保	23	0.9
その他の損害保険会社	137	5.1
いずれかの少額短期保険会社	22	0.8
JA共済（農協の共済）	135	5.0
JF共済（漁協の共済）	1	0.0
こくみん共済 coop <全労済>	124	4.6
コープ共済（CO・OP共済）	149	5.6
都道府県民共済 <全国生協連>	279	10.4
職場内や同じ職業の方、あるいは市民を対象に募集されている共済 <中小企業共済、〇〇市民共済など>	51	1.9
その他の共済	38	1.4

※ これ以降の設問（Q17～Q21）は、Q16で回答した【あなたが実際に契約されている保険会社や共済のうち、「最も新しい契約（更新は含まない）」（すべての契約を解約されている場合、「最後に解約した契約」）】についてお伺いします。

Q17. その保険・共済商品について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10 で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n -%	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.生活の安心を守るのに有効である	2680 100.0	592 22.1	1328 49.6	613 22.9	99 3.7	48 1.8
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	2680 100.0	548 20.4	1299 48.5	631 23.5	149 5.6	53 2.0
3.日々の暮らしと切り離せないものである	2680 100.0	331 12.4	952 35.5	995 37.1	315 11.8	87 3.2
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	2680 100.0	161 6.0	535 20.0	978 36.5	662 24.7	344 12.8
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	2680 100.0	181 6.8	682 25.4	1201 44.8	439 16.4	177 6.6
6.契約した商品の保険料・掛金は妥当である	2680 100.0	301 11.2	896 33.4	1052 39.3	341 12.7	90 3.4
7.契約した商品の保障は十分である	2680 100.0	292 10.9	947 35.3	1094 40.8	270 10.1	77 2.9
8.契約した商品の説明や手続きは分かりやすい	2680 100.0	314 11.7	1021 38.1	991 37.0	255 9.5	99 3.7
9.商品を契約したことで、あなたの周囲に安心を与えられたと感じられる	2680 100.0	264 9.9	1011 37.7	1039 38.8	261 9.7	105 3.9
10.商品を契約することを、あなたの周囲から求められていたと感じられる	2680 100.0	157 5.9	512 19.1	1199 44.7	508 19.0	304 11.3

Q18. その保険・共済商品の提供企業について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10 で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.会社の経営が健全である	2680 100.0	458 17.1	1096 40.9	1007 37.6	81 3.0	38 1.4
2.企業理念に共感ができる	2680 100.0	173 6.5	693 25.9	1565 58.4	175 6.5	74 2.8
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	2680 100.0	632 23.6	1047 39.1	885 33.0	81 3.0	35 1.3
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	2680 100.0	343 12.8	871 32.5	1168 43.6	223 8.3	75 2.8
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	2680 100.0	283 10.6	875 32.6	1254 46.8	213 7.9	55 2.1
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	2680 100.0	315 11.8	1009 37.6	1116 41.6	184 6.9	56 2.1
7.契約者の声を大切にしている	2680 100.0	230 8.6	651 24.3	1500 56.0	232 8.7	67 2.5
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	2680 100.0	371 13.8	782 29.2	1266 47.2	172 6.4	89 3.3
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	2680 100.0	123 4.6	362 13.5	1590 59.3	416 15.5	189 7.1
10.地場産業の発展に取り組んでいる	2680 100.0	106 4.0	327 12.2	1599 59.7	425 15.9	223 8.3
11.ボランティア活動に取り組んでいる	2680 100.0	101 3.8	287 10.7	1596 59.6	451 16.8	245 9.1
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	2680 100.0	103 3.8	412 15.4	1584 59.1	379 14.1	202 7.5
13.文化振興に取り組んでいる	2680 100.0	85 3.2	353 13.2	1648 61.5	383 14.3	211 7.9
14.防災・減災に取り組んでいる	2680 100.0	119 4.4	436 16.3	1581 59.0	359 13.4	185 6.9
15.交通安全の推進に取り組んでいる	2680 100.0	125 4.7	432 16.1	1612 60.1	327 12.2	184 6.9
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	2680 100.0	107 4.0	381 14.2	1606 59.9	372 13.9	214 8.0
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	2680 100.0	150 5.6	621 23.2	1479 55.2	283 10.6	147 5.5
18.国民生活の向上に取り組んでいる	2680 100.0	134 5.0	537 20.0	1548 57.8	296 11.0	165 6.2

Q19. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10 で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには保険料や掛金が高すぎると思いませんか	2680 100.0	196 7.3	658 24.6	1094 40.8	557 20.8	175 6.5
2.その保険・共済商品について、誰かに紹介するには商品の説明が難しすぎと思いませんか	2680 100.0	220 8.2	629 23.5	1090 40.7	599 22.4	142 5.3
3.その保険・共済商品について、誰かに紹介するために十分な情報を持っていると思いませんか	2680 100.0	111 4.1	382 14.3	1188 44.3	669 25.0	330 12.3
4.その保険・共済商品の善し悪しについて、自信を持って評価できると思いませんか	2680 100.0	101 3.8	503 18.8	1390 51.9	476 17.8	210 7.8
5.家族と、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	2680 100.0	163 6.1	712 26.6	1186 44.3	457 17.1	162 6.0
6.知人、職場の同僚といった人たちと、暮らしの不安や事故や傷病時に生じるリスクについてお話しする機会があると思いませんか	2680 100.0	103 3.8	486 18.1	1189 44.4	605 22.6	297 11.1

Q20. 次の質問について、あなたの考えをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10 で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n — %	満 足	や や 満 足	ど ち ら と も 言 え な い	や や 不 満 足	不 満 足
1.その保険・共済商品についての満足度を教えてください	2680 100.0	262 9.8	1122 41.9	1030 38.4	226 8.4	40 1.5
2.その保険・共済商品の提供企業についての満足度を教えてください	2680 100.0	234 8.7	961 35.9	1232 46.0	207 7.7	46 1.7

Q21. あなたはその保険・共済商品が、家族や知人、職場の同僚といった人たちにとって必要があると感じた場合、おすすめしますか。(単一回答)

【Q10 で「契約をしている、もしくはしたことがある」とした方のみ回答】

	n	%
全体	2680	100.0
すすめる	134	5.0
多分すすめる	800	29.9
どちらとも言えない	1266	47.2
多分すすめない	354	13.2
すすめない	126	4.7

Q22. あなたが保険・共済商品についてお持ちのイメージをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10 で「検討はしたが、契約をしたことはない」、「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.生活の安心を守るのに有効である	1200 100.0	89 7.4	377 31.4	558 46.5	119 9.9	57 4.8
2.不幸な出来事から生活を再建するために有効である	1200 100.0	98 8.2	398 33.2	498 41.5	137 11.4	69 5.8
3.日々の暮らしと切り離せないものである	1200 100.0	57 4.8	240 20.0	632 52.7	183 15.3	88 7.3
4.自分が保険金・共済金の支払いを受けなくても、自分の払った保険料・掛金が誰かの役に立っていると感じられる	1200 100.0	55 4.6	163 13.6	598 49.8	257 21.4	127 10.6
5.保険・共済を通じた社会全体の助け合いが実現している	1200 100.0	58 4.8	213 17.8	640 53.3	189 15.8	100 8.3
6.保険料・掛金は妥当である	1200 100.0	57 4.8	185 15.4	672 56.0	187 15.6	99 8.3
7.保障は十分である	1200 100.0	50 4.2	164 13.7	703 58.6	188 15.7	95 7.9
8.商品の説明や手続きは分かりやすい	1200 100.0	45 3.8	167 13.9	649 54.1	218 18.2	121 10.1
9.その商品を契約すると、あなたの周囲に安心を与えられると感じられる	1200 100.0	49 4.1	243 20.3	630 52.5	188 15.7	90 7.5
10.その商品を契約することを、あなたの周囲から求められていると感じられる	1200 100.0	45 3.8	138 11.5	646 53.8	237 19.8	134 11.2

Q23. あなたが保険・共済商品の提供企業についてお持ちのイメージをお聞かせください。(それぞれ横方向にいずれかひとつ回答)

【Q10で「検討はしたが、契約をしたことはない」、「検討自体をしたことがない」とした方のみ回答】

	n — %	思 う	や や 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い
1.会社の経営が健全である	1200 100.0	58 4.8	233 19.4	718 59.8	125 10.4	66 5.5
2.企業理念に共感ができる	1200 100.0	42 3.5	174 14.5	721 60.1	181 15.1	82 6.8
3.事故や傷病の発生時には速やかに保険金・共済金を支払ってくれる	1200 100.0	61 5.1	295 24.6	624 52.0	148 12.3	72 6.0
4.契約後のフォロー（相談対応やサービスのしやすさ）も万全である	1200 100.0	44 3.7	200 16.7	721 60.1	161 13.4	74 6.2
5.時代の変化に合わせて新しい商品やサービスを提供している	1200 100.0	53 4.4	266 22.2	680 56.7	133 11.1	68 5.7
6.商品やサービスについて「分かりやすく」「誤解のないよう」提供している	1200 100.0	49 4.1	229 19.1	680 56.7	171 14.3	71 5.9
7.契約者の声を大切にしている	1200 100.0	43 3.6	201 16.8	724 60.3	148 12.3	84 7.0
8.説明や手続きに来る人が信頼できる	1200 100.0	40 3.3	203 16.9	720 60.0	157 13.1	80 6.7
9.地域コミュニティの活性化に取り組んでいる	1200 100.0	46 3.8	178 14.8	706 58.8	176 14.7	94 7.8
10.地場産業の発展に取り組んでいる	1200 100.0	42 3.5	170 14.2	700 58.3	191 15.9	97 8.1
11.ボランティア活動に取り組んでいる	1200 100.0	41 3.4	177 14.8	665 55.4	206 17.2	111 9.3
12.環境保護・保全活動に取り組んでいる	1200 100.0	48 4.0	187 15.6	696 58.0	170 14.2	99 8.3
13.文化振興に取り組んでいる	1200 100.0	40 3.3	180 15.0	697 58.1	180 15.0	103 8.6
14.防災・減災に取り組んでいる	1200 100.0	49 4.1	189 15.8	687 57.3	172 14.3	103 8.6
15.交通安全の推進に取り組んでいる	1200 100.0	56 4.7	187 15.6	676 56.3	188 15.7	93 7.8
16.資産形成に関する教育に取り組んでいる	1200 100.0	33 2.8	176 14.7	692 57.7	193 16.1	106 8.8
17.「たすけあい」が広がる社会の実現に取り組んでいる	1200 100.0	40 3.3	229 19.1	696 58.0	148 12.3	87 7.3
18.国民生活の向上に取り組んでいる	1200 100.0	52 4.3	193 16.1	687 57.3	173 14.4	95 7.9

※ Q24については、エラーチェック用項目のため非掲載

Q25. あなたの年収（額面）をお選びください。（単一回答）

【Q1で「自営業」「正規の職員・従業員」「契約職員、パート、アルバイト、嘱託」「派遣労働者」「役員」「その他」とした方のみ】

	n	%
全体	3108	100.0
100万円未満	352	11.3
100万円以上～200万円未満	419	13.5
200万円以上～300万円未満	472	15.2
300万円以上～400万円未満	477	15.3
400万円以上～500万円未満	410	13.2
500万円以上～600万円未満	288	9.3
600万円以上～700万円未満	193	6.2
700万円以上～800万円未満	165	5.3
800万円以上～900万円未満	85	2.7
900万円以上～1,000万円未満	46	1.5
1,000万円以上～1,200万円未満	74	2.4
1,200万円以上～1,400万円未満	26	0.8
1,400万円以上～	42	1.4
収入はない	59	1.9

性別（単一回答）

	n	%
全体	3880	100.0
男性	1945	50.1
女性	1935	49.9

年齢（回答は数字入力）

	n	%
全体	3880	100.0
20歳代	635	16.4
30歳代	703	18.1
40歳代	899	23.2
50歳代	864	22.3
60歳代	779	20.1

性別・年代別

	n	%
全体	3880	100.0
男性 20歳代	322	8.3
男性 30歳代	359	9.3
男性 40歳代	455	11.7
男性 50歳代	432	11.1
男性 60歳代	377	9.7
女性 20歳代	313	8.1
女性 30歳代	344	8.9
女性 40歳代	444	11.4
女性 50歳代	432	11.1
女性 60歳代	402	10.4

都道府県（単一回答）

	n	%
全体	3880	100.0
北海道	149	3.8
青森県	42	1.1
岩手県	42	1.1
宮城県	72	1.9
秋田県	32	0.8
山形県	37	1.0
福島県	56	1.4
茨城県	88	2.3
栃木県	62	1.6
群馬県	62	1.6
埼玉県	221	5.7
千葉県	190	4.9
東京都	443	11.4
神奈川県	273	7.0
新潟県	67	1.7
富山県	35	0.9
石川県	37	1.0
福井県	25	0.6
山梨県	27	0.7
長野県	63	1.6
岐阜県	60	1.5
静岡県	107	2.8
愛知県	223	5.7
三重県	57	1.5
滋賀県	51	1.3
京都府	76	2.0
大阪府	258	6.6
兵庫県	160	4.1
奈良県	39	1.0
和歌山県	30	0.8
鳥取県	21	0.5
島根県	26	0.7
岡山県	57	1.5
広島県	85	2.2
山口県	42	1.1
徳島県	26	0.7
香川県	31	0.8
愛媛県	40	1.0
高知県	23	0.6
福岡県	150	3.9
佐賀県	28	0.7
長崎県	45	1.2
熊本県	54	1.4
大分県	36	0.9
宮崎県	34	0.9
鹿児島県	49	1.3
沖縄県	49	1.3
国外	0	0.0